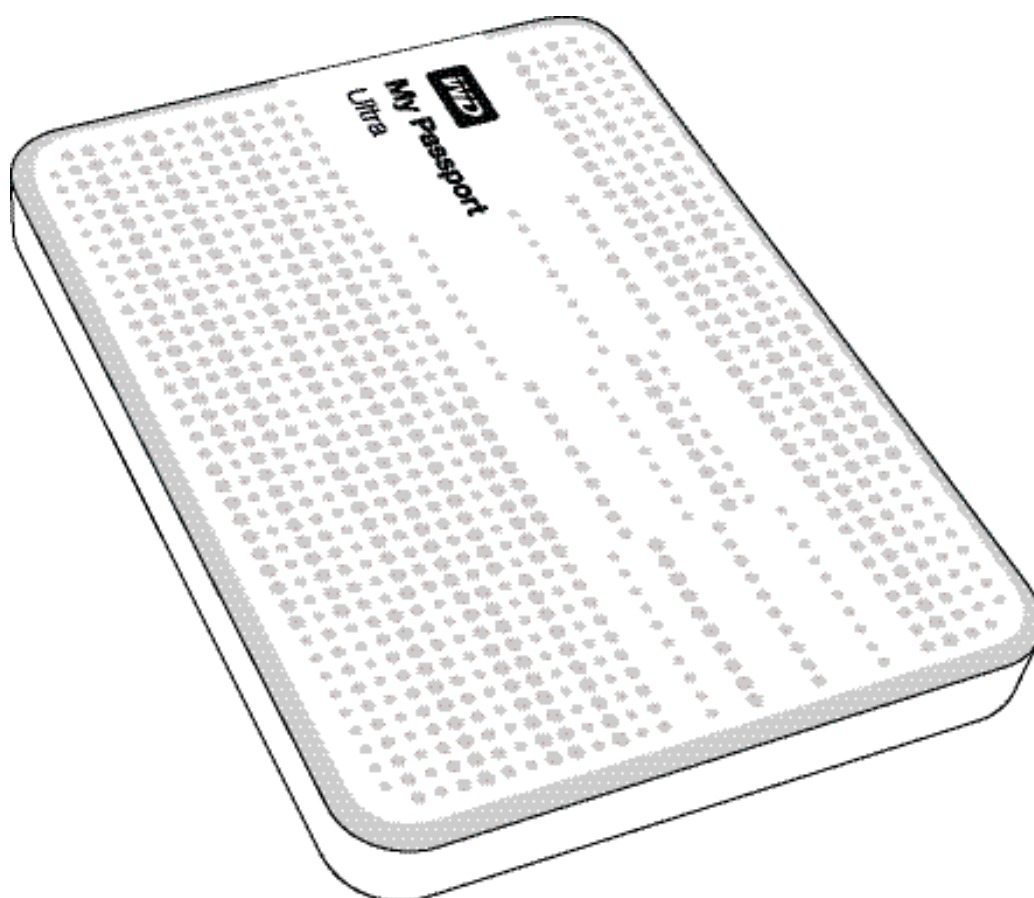


# My Passport® Ultra™

ポータブルハードディスクドライブ

ユーザーマニュアル



## WD サービスとサポート

万が一製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願い致します。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、弊社のナレッジベースまたはメールでのサポートサービス (<http://support.wdc.com>) でお答えすることができます。回答が得られない場合、またご希望によっては、下記の電話番号にて弊社までお問い合わせください。

お客様の製品には、保証期間中、30日の無料の電話サポートが含まれています。この30日間は弊社のテクニカルサポートに最初にお電話された日付から始まります。メールによるサポートは保証期間中無料です。また、弊社のナレッジベースは年中無休でご利用いただけます。お客様に常に最新の機能とサービスを提供できますよう、<http://register.wdc.com> よりオンライン製品登録をお願い致します。

### オンラインサポートへのアクセス

製品サポートウェブサイト <http://support.wdc.com> へアクセスし、次のトピックから選択してください。

- **ダウンロード** – お使いの WD 製品のドライバ、ソフトウェア、およびアップデートをダウンロードすることができます。
- **登録** – 最新のアップデートおよび特別な提供を入手されるためにお使いの WD 製品を登録してください。
- **保証および RMA サービス** – 保証、製品交換 (RMA)、RMA ステータス、および日付取得情報を獲得します。
- **ナレッジベース** – キーワード、フレーズ、または回答 ID で検索することができます。
- **インストール** – WD 製品やソフトウェアのオンラインインストールヘルプを確認することができます。
- **WD コミュニティ** – 他の WD ユーザーと意見を共有したり、接続したりします。

### WD テクニカルサポートの連絡先

サポートのために WD へ連絡いただく際は、WD 製品シリアル番号、システムハードウェア、およびシステムソフトウェアバージョンをご用意ください。

<b>北米</b>		<b>ヨーロッパ (通信料無料)*</b>	00800 ASK4 WDEU
英語	800.ASK.4WDC (800.275.4932)	ヨーロッパ	(00800 27549338)
スペイン	800.832.4778	中東	+31 880062100
		アフリカ	+31 880062100
メキシコ	001 8002754932	ロシア	+31 880062100 8 10 8002 335 5011
<b>南米</b>		<b>アジア太平洋</b>	
チリ	1230 020 5871	オーストラリア	1800 42 9861/+800 2275 4932
コロンビア	009 800 83247788	中国	800 820 6682
ベネズエラ	0800 100 2855	ホンコン	+800 6008 6008
ペルー	0800 54003	インド	1800 419 5591/1800 200 5789
ウルグアイ	000 413 598 3787	インドネシア	+803 852 9439
アルゼンチン	0800 4440839	日本	00531 65 0442/0120 994 120
ブラジル	0800 7704932 0021 800 83247788	韓国	02 703 6550
		マレーシア	1800 88 1908/+800 6008 6008 (Telekom Malaysia)
		ニュージーランド	0508 555 639/+800 2275 4932
		フィリピン	1 800 1441 0159
		シンガポール	1800 608 6008/+800 6008 6008 (Singtel)
		台湾	0800 666 290/+800 6008 6008 (Chunghwa)
		タイ	001 800 441 0570

\* 通信料無料番号は以下の国で利用可能です。オーストラリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、英国。

# 目次

WD サービスとサポート .....	ii
オンラインサポートへのアクセス .....	ii
WD テクニカルサポートの連絡先 .....	ii
<b>1 本製品について .....</b>	<b>1</b>
特徴 .....	1
パッケージ同梱物 .....	2
オプションアクセサリ .....	2
オペレーティングシステムの互換性 .....	3
ディスクドライブのフォーマット .....	3
各部の名称と説明 .....	4
電源/動作状況 LED .....	4
USB 3.0 インターフェース .....	4
ドライブの登録 .....	4
取り扱い上の注意 .....	4
<b>2 ドライブの接続と使用開始 .....</b>	<b>5</b>
ドライブの接続 .....	5
WD ソフトウェアを使い始める .....	6
<b>3 WD SmartWare ソフトウェア機能概要 .....</b>	<b>15</b>
[ホーム] 画面 .....	16
[バックアップ] 画面 .....	23
[復元] 画面 .....	25
[設定] 画面 .....	28
[ヘルプ] 画面 .....	29
<b>4 ファイルのバックアップ .....</b>	<b>31</b>
バックアップ機能の仕組み .....	31
ファイルのバックアップ .....	31
<b>5 ファイルの復元 .....</b>	<b>41</b>
復元機能の仕組み .....	41
ファイルの復元 .....	41
<b>6 ドライブのロックとロックの解除 .....</b>	<b>46</b>
パスワード認証によるドライブの保護 .....	46
ドライブのロックを解除する .....	47
WD セキュリティまたはWD ドライブユーティリティでドライブのロックを解除する .....	48
WD SmartWare ソフトウェアを使用してドライブのロックを解除します .....	49
WD ドライブのロック解除ユーティリティでドライブを解除 .....	50
パスワードの変更 .....	51

ドライブのロック機能を無効にする .....	52
<b>7 ドライブの管理とカスタマイズ .....</b>	<b>53</b>
WD Quick View アイコンを使用する .....	53
WD SmartWare を起動する .....	53
ドライブステータスをチェックする .....	54
ドライブを安全に取り外す .....	54
アイコンアラートを監視する .....	55
ドライブのスリープタイマーを設定する .....	55
ドライブの登録 .....	56
本製品の健全性をチェックする .....	57
ドライブの消去 .....	58
ドライブ消去機能を使用する .....	59
WD Drive Unlock Utility を使用する .....	59
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元 .....	61
<b>8 ソフトウェアの管理とカスタマイズ .....</b>	<b>62</b>
バックアップ バージョンの数を指定 .....	62
別の復元コンテンツフォルダを指定する .....	63
ソフトウェアアップデートのチェック .....	63
リモート Dropbox アカウントの設定 .....	64
WD ソフトウェアのアンインストール .....	65
Windows XP でアンインストール .....	65
Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 でアンインストール .....	66
<b>9 Mac でドライブを使用する .....</b>	<b>67</b>
ドライブの再フォーマット .....	67
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元 .....	67
<b>10 トラブルシューティング .....</b>	<b>68</b>
ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット .....	68
よくある質問 .....	68
<b>A SES ドライバのインストール .....</b>	<b>70</b>
Windows XP コンピュータにインストールする .....	70
ドライバを自動的にインストール .....	70
ドライバを手動でインストール .....	72
Windows Vista にインストールする .....	73
ドライバを自動的にインストール .....	74
ドライバを手動でインストール .....	75
Windows 7 と Windows 8 コンピュータにインストール .....	77
<b>B 遵守および保証情報 .....</b>	<b>79</b>
規制遵守 .....	79
FCC クラス B 情報 .....	79
ICES-003/NMB-003 宣言 .....	79

安全準拠.....	79
ヨーロッパCE遵守 .....	80
KC告知（韓国のみ）.....	80
環境基準の遵守（中国）.....	80
保証情報.....	80
サービスを受けるには .....	80
限定保証.....	81
GNU一般公衆利用許諾契約書（GPL）.....	81
<b>索引.....</b>	<b>82</b>

## 本製品について

My Passport® Ultra™ ポータブルハードドライブへようこそ。このドライブは、コンパクトで大容量のポータブルハードドライブです。超高速 USB3.0 インターフェース、ローカルおよびクラウドバックアップ、パスワード認証機能、ハードウェアベースでのデータ暗号化機能を搭載しています。

この章では、以下のトピックについて説明します。

### 特徴

パッケージ同梱物

オプションアクセサリ

オペレーティングシステムの互換性

ディスクドライブのフォーマット

各部の名称と説明

ドライブの登録

取り扱い上の注意

## 特徴

コンパクト設計、大容量、ローカルまたはクラウドバックアップの機能を備える My Passport Ultra は、ポータブルなデジタルライフに最適です。

**ウルトラ高速転送速度** – USB 3.0 ポートに接続すると、My Passport により超高速でファイルにアクセスしたり保存ができます。USB 2.0 対比で最大 3 倍のデータ転送速度。転送時間を大幅に短縮。\*

\*実際の転送速度はお客様のハードウェアおよびシステム条件によって異なります。

**自動・連続バックアップソフトウェア** – WD SmartWare™ Pro 自動・連続バックアップソフトウェアは、最小の PC リソースのみを使用し、バックグラウンドで静かに動作、データをしっかりと保護。自動の継続的なバックアップを選択し、ファイルを直ちにバックアップ。または、スケジュールによるバックアップのオプションを選択し、スケジュールに従ってファイルをバックアップし、バックアップを制御。

**ローカルおよびクラウドバックアップ** – WD SmartWare Pro ソフトウェアでは、ファイルをバックアップする場所を選択できます。My Passport Ultra ドライブにファイルをバックアップ、または Dropbox\* を使用してクラウドにファイルをバックアップ。

\*クラウドバックアップには Dropbox アカウントが必要です。ここに記載しているクラウドサービスは国によって変更、終了、中断される場合があります。

**Windows® 8 との優れた連携** – WD Windows 8 アプリを使用すると、Windows 8 コンピュータで My Passport Ultra ドライブに保存されたデジタルメディアを簡単に検出することができます。コンテンツは自動的に表示、整理されるため、写真、ビデオ、音楽を簡単に楽しむことができます。

**スタイリッシュなデザインに大容量** – わずか 12.8 mm の超薄型ポータブルハードディスク。高速で大容量。

**USB 3.0 and USB 2.0 compatibility** – このドライブは、最新の USB 3.0 デバイスと互換性を維持し、また USB 2.0 デバイスとは下位互換性を維持しています。

**WD Security™ ソフトウェア** – パスワード保護の設定とハードウェアベースでのデータ暗号化機能で、ハードディスクドライブ上にあるファイルの不正使用や不正アクセスを防止します。

**WD Drive Utilities™ ソフトウェア** – ハードディスクドライブ本体の登録、ドライブスリープタイマーの設定、ディスク診断をはじめ、それ以外にもさまざまなユーティリティ機能をお使いいただけます。

**頑丈な筐体がドライブを保護** – WDは、お客様のデータがお客様にとって重要であることを理解しています。WDでは自社の内蔵ドライブを、耐久性、防振性、長期的な信頼性の観点で高い基準を設けて開発し、美しいデザインの頑丈な筐体で、ドライブを保護。

**USB 駆動** – お使いの PC の USB ポートから直接電力供給します。別の電源は必要ありません。

---

**重要：**最新のWD製品情報とニュースについては、弊社のウェブサイト <http://www.westerndigital.com> をご覧ください。最新のソフトウェア、ファームウェア、および製品ドキュメントと情報については、<http://support.wdc.com/downloads> を参照してください。

---

## パッケージ同梱物

My Passport Ultra ハードディスクドライブキットには、以下のものが同梱されています (図1)。

- My Passport Ultra ポータブルハードディスクドライブ、WD ドライブユーティリティ、WD セキュリティ、WD SmartWare ソフトウェア、WD Smartware Pro ソフトウェアアップグレード
- USB 3.0 ケーブル
- クイック インストール ガイド

## オプションアクセサリ

WD製品のオプションアクセサリについての詳細は、以下をご覧ください。

米国	<a href="http://www.shopwd.com">http://www.shopwd.com</a> または <a href="http://www.wdstore.com">http://www.wdstore.com</a>
カナダ	<a href="http://www.shopwd.ca">http://www.shopwd.ca</a> または <a href="http://www.wdstore.ca">http://www.wdstore.ca</a>
ヨーロッパ	<a href="http://www.shopwd.eu">http://www.shopwd.eu</a> または <a href="http://www.wdstore.eu">http://www.wdstore.eu</a>
その他の国	各地域のWDテクニカルサポートにお問い合わせください。テクニカルサポートの連絡先のリストは、 <a href="http://support.wdc.com">http://support.wdc.com</a> にアクセスして、ナレッジベースの Answer ID 1048 でご覧いただけます。



図1 My Passport Ultra ドライブキットコンポーネント

## オペレーティングシステムの互換性

My Passport Ultra ドライブおよびWD Drive Utilities、WD Security ソフトウェアは、以下のオペレーションシステムと互換性があります。

### Windows®

- Windows XP
- Windows Vista®
- Windows 7
- Windows 8

### Mac OS X

- Leopard
- Snow Leopard
- Lion
- Mountain Lion

WD SmartWare ソフトウェアは以下のオペレーティングシステムとの互換性があります。

### Windows

- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7
- Windows 8

互換性は、ハードウェア構成とオペレーティングシステムによって異なる場合があります。

最高のパフォーマンスと信頼性を得るには、必ず最新のアップデートおよびサービスパック (SP3) をインストールしてください。Windows PC をご使用の方は [スタート] メニューに進み、[Windows Update] を選択してください。Mac をご使用の方は、[Apple] メニューに進み、[ソフトウェア・アップデート] を選択してください。

## ディスクドライブのフォーマット

My Passport Ultra ハードディスクドライブは、すべての更新済み Windows OS との互換性を保つために、単一の NTFS パーティションとしてフォーマットされています。このドライブを Mac で使用される場合は、「ドライブの再フォーマット」p. 67 と「トラブルシューティング」p. 68 を参照してください。



## 各部の名称と説明

図2に示すように、My Passport Ultra ドライブには以下が含まれています。

- 電源/動作状況 LED
- USB3.0 インターフェースポート

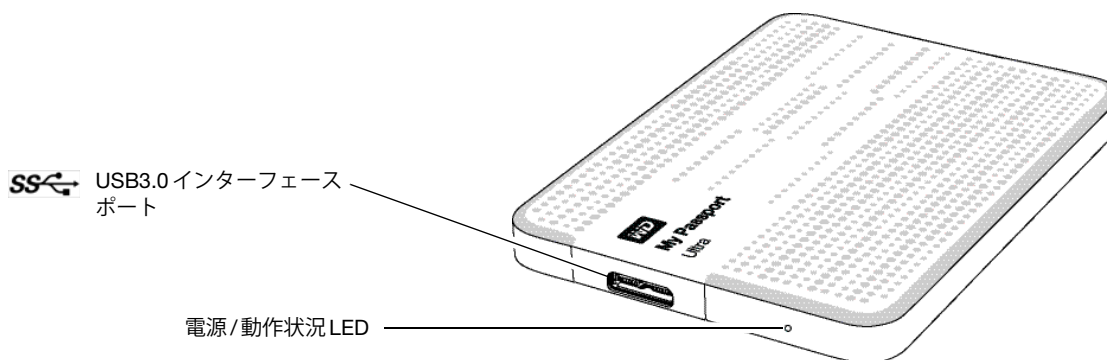


図2 My Passport Ultra ドライブ

## 電源/動作状況 LED

電源/動作状況 LED は、ハードディスクドライブの電源状態および動作状況を以下のように表示します。

LED 表示	電源状態および動作状況
常時点灯	アイドル
高速点滅 (1秒に約3回)	動作
ゆっくりと点滅 (約2.5秒おき)	システムスタンバイ

## USB 3.0 インターフェース

USB 3.0は、最高 5 Gb/s のデータ転送レートをサポートします。USB 3.0 は USB 2.0 と下位互換性があります。USB 2.0 ポートに接続した場合のデータ転送レートは最高 480 Mb/s です。

## ドライブの登録

お客様の My Passport Ultra ドライブをご登録ください。ご登録いただいたお客様には、最新のアップデート情報および特別価格販売などをご案内いたします。ご使用のドライブは、WD Drive Utilities ソフトウェアを使用して簡単にご登録いただけます。また、操作手順は「ドライブの登録」p. 56に記載されています。<http://register.wdc.com> からオンラインでご登録いただくこともできます。

## 取り扱い上の注意

WD 製品は精密機械なので、開梱時およびインストールの際は丁寧にお取り扱いください。乱暴な取扱、衝撃または振動はドライブに損傷を与える場合があります。外付けストレージ製品の開梱や使用の際には、次の注意事項を守ってください。

- ドライブを落としたり、衝撃を与えたりしないでください
- 動作中のドライブを動かさないでください

## 2

## ドライブの接続と使用開始

この章では、ドライブを接続し、WD ドライブユーティリティ、WD セキュリティ、およびWD SmartWareソフトウェアをご使用のコンピュータにインストールする手順について説明します。この章では以下のトピックについて説明します。

ドライブの接続  
WDソフトウェアを使い始める

### ドライブの接続

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 図3に示すように、ドライブをコンピュータに接続します。
3. ドライブがコンピュータのファイル管理ユーティリティのリストに表示されていることを確認します。
4. [新しいハードウェアの検出] 画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックして画面を閉じます。WDソフトウェアによりドライブに適したドライバーが自動的にインストールされます。

これで My Passport を外付けストレージデバイスとして使用する準備ができました。ドライブ上にある WD ソフトウェアをインストールすることで、機能をより向上させることができます。

- WD ドライブユーティリティ
- WD セキュリティ
- WD SmartWare

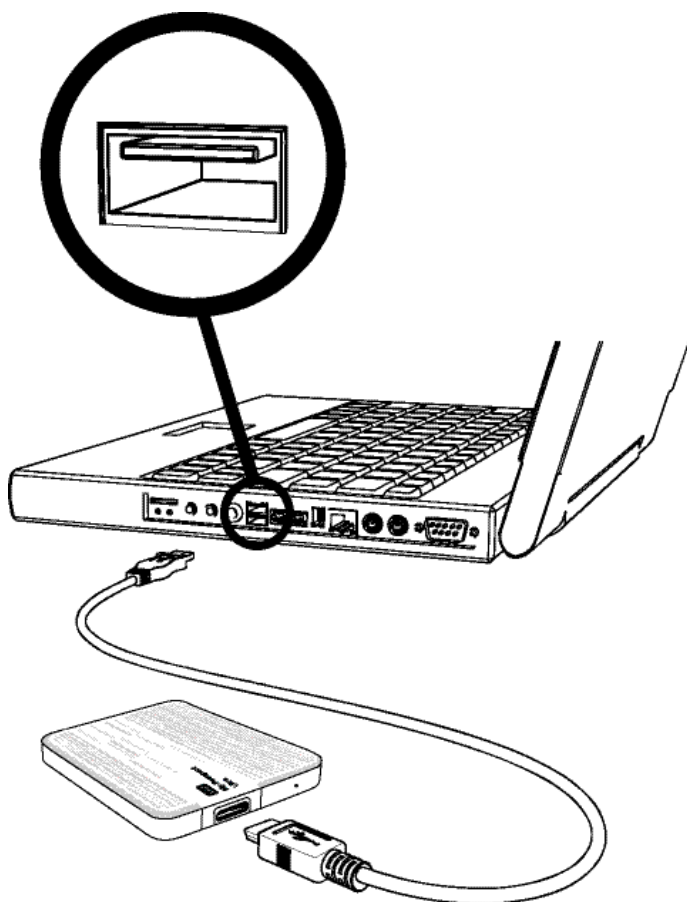


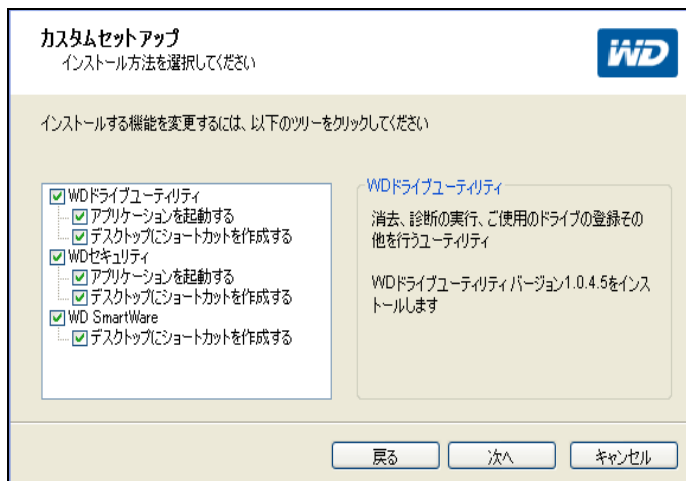
図3 My Passportの接続

## WD ソフトウェアを使い始める

1. コンピュータのファイル管理ユーティリティのドライブのリストに表示される WD Apps Setup ファイルをダブルクリックして、WD ソフトウェアセットアップウィザードを開始します。

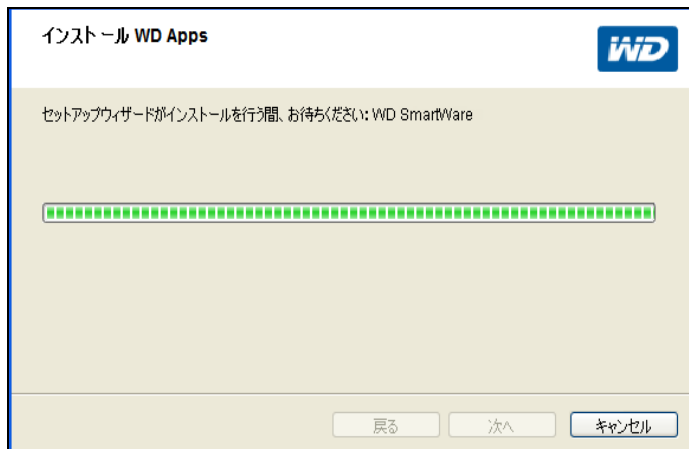


2. [次へ] ボタンをクリックして使用許諾契約を表示します。
3. 使用許諾契約を読み、[使用許諾契約に同意します] チェックボックスをオンにして、[次へ] ボタンを使用可能にします。
4. [次へ] ボタンをクリックして [カスタムセットアップ] ダイアログを表示します。



5. [カスタムセットアップ] ダイアログの操作：
  - a. アプリケーション名を選択して、アプリケーションの説明を確認します。
    - **WD ドライブユーティリティ**
    - **WD セキュリティ**
    - **WD SmartWare**
  - b. アプリケーションを何もインストールしない場合は、すべてのチェックボックスをオフにします。

- c. 以下のインストールオプションを何も設定しない場合は、すべてのチェックボックスをオフにします。
- **デスクトップにショートカットを作成する**
  - **アプリケーションを起動する**
- d. [次へ] ボタンをクリックして、選択したアプリケーションおよびインストールオプションのインストールを開始します。
6. インストールの完了を待ちます。



7. インストール完了後、[完了] をクリックして WD Apps Setup ウィザードを終了します。



8. 選択に応じて、以下のようになります：
- WD ドライブユーティリティと [インストール後にアプリケーションを起動する] オプションのインストールの場合、[WD ドライブユーティリティ] 画面 (p. 8の図4および「ドライブの管理とカスタマイズ」 p. 53を参照) が表示されます。
  - WD セキュリティと [インストール後にアプリケーションを起動する] オプションのインストールの場合、[WD セキュリティ] 画面 (p. 8の図5および「ドライブのロックとロックの解除」 p. 46を参照) が表示されます。
  - WD SmartWare ソフトウェアをインストールすると、[WD SmartWare Pro へのアップグレード] 画面が表示されます。ここで無料ソフトウェアのアップグレードのアクティベーションを行うことができます (p. 9の図6を参照し、ステップ9に進みます)。



図4 [WD ドライブユーティリティ] 画面

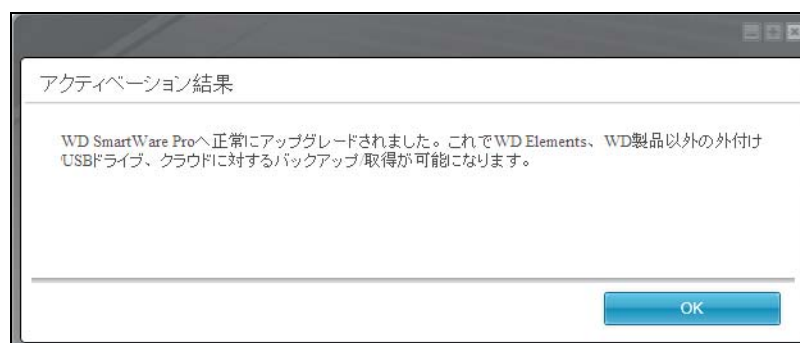


図5 [WD セキュリティ] 画面



図6 [WD SmartWare Pro へのアップグレード] 画面

9. WD SmartWare Pro ソフトウェアアップグレードにより、WD 以外のドライブ、サポートされていない WD ドライブ、およびリモート Dropbox フォルダに対するバックアップ機能が拡張されます。無料アップグレードのアクティベーションを行うことにより、WD SmartWare Pro ソフトウェアがコンピュータにインストールされます。また、他の2 台のコンピュータにインストールするとき使用するアクティベーションコードが電子メールで提供されます。
  - a. [名] ボックスに名前を入力します。
  - b. [姓] ボックスに名字を入力します。
  - c. [電子メールアドレス] ボックスに電子メールアドレスを入力します。
  - d. [アクティベーション] をクリックしてアップグレードを完了し、アクティベーション結果メッセージを表示します。



- e. [OK] ボタンをクリックして、[バックアップデバイスの選択] 画面を表示します。



ご注意：この時点でWD SmartWare Pro ソフトウェアはインストールされています。ここで初期バックアップのためのセットアップ手順をスキップする場合は、[バックアップデバイスの選択] 画面の右上隅にあるX（閉じる）ウィンドウアイコンをクリックします。それ以外はステップ10に進みます。

10. [バックアップデバイスの選択] 画面の [バックアップソース] 領域で、バックアップ対象のファイルを持つデバイスを選択します。

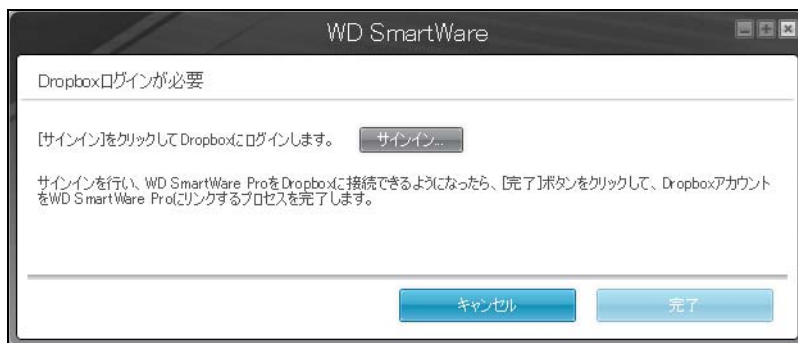
- a. バックアップソースの選択ボックスを使用して、ファイルのバックアップをローカルハードドライブから行うのか、リモート Dropbox フォルダから行うのかを指定します。



- デフォルトでは、コンピュータオプションが選択されます。このコンピュータアイコンは、バックアップソースデバイスが内蔵ハードドライブ、ドライブパーティション、またはローカルに直接接続された外付けハードドライブのいずれかであることを示します。



- Dropbox オプションを選択すると、[Dropbox ログインが必要] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定します。



Dropbox フォルダをバックアップソースデバイスとして使用する前に、WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定する必要があります。リモート Dropbox アカウントの設定のステップ4 p. 64を参照してください。

- WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定後、この Dropbox アイコンは、バックアップソースデバイスがリモート Dropbox フォルダであることを示します。



- b. 選択されたバックアップソースデバイスに複数の内蔵ハードドライブ、ドライブパーティションまたは外付けハードドライブが存在している場合は、バックアップソースデバイス選択ボックスを使用してバックアップ対象にする1つのソースを選択します。



**11. [バックアップデバイスの選択] 画面の [バックアップターゲット] 領域で、以下の操作を行います。**

- a. コンピュータに複数のバックアップターゲットデバイスを接続している場合は、バックアップ対象にする1つのターゲットを選択します。



- b. 選択したデバイスが明るい青色の背景でハイライト表示されることを確認します。
- c. バックアップターゲットデバイスとして Dropbox を選択した場合、[Dropbox ログインが必要] ダイアログを使用して、WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定します。



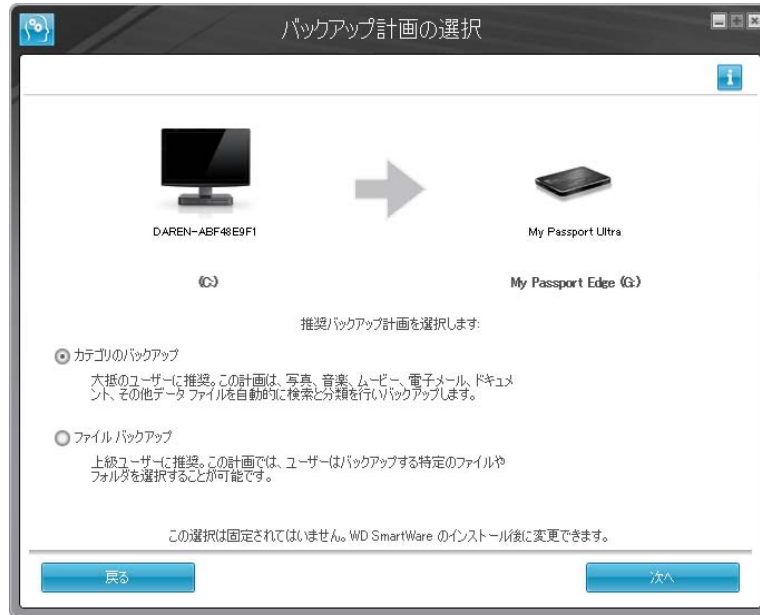
Dropbox フォルダをバックアップターゲットデバイスとして使用する前に、WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定する必要があります。リモート Dropbox アカウントの設定のステップ 4 p. 64 を参照してください。

- d. 選択したバックアップターゲットデバイスに複数のドライブパーティションまたはネットワーク共有が存在している場合、デバイスアイコンの下にあるバックアップターゲットデバイス選択ボックスを使用して1つのターゲットを選択します。





12. [バックアップデバイスの選択] 画面の [次へ] ボタンをクリックして、[バックアッププランの選択] 画面を表示します。



13. [バックアッププランの選択] 画面で、以下の操作を行います。
- 実行したいバックアップタイプのオプションを選択します。
    - カテゴリ バックアップ** – バックアップソースデバイス上の選択されたカテゴリのファイルをすべて見つけてバックアップします。
    - ファイル バックアップ** – バックアップソースデバイスのフォルダ ビューから選択した特定の個々のファイルあるいはフォルダをバックアップします。
  - [次へ] ボタンをクリックして、初回の [バックアップ頻度の選択] 画面を表示します。



14. スケジュールバックアップ、[バックアップ頻度の選択] 画面：

- a. 時間を決めてバックアップソースデバイスをスキャンするオプションか、既存のファイルが変更された場合または新しいファイルが追加された場合に自動的にバックアップを実行するオプションを選択します。
  - **連続バックアップ** – 常時バックアップが実行されます。
  - **スケジュールバックアップ** – 指定された日時にのみバックアップが実行されます。
- b. [スケジュールバックアップ] を選択した場合は、[毎時]、[毎日]、または[毎月] のオプションを選択し、チェックボックスと選択ボックスを使用してバックアップをスケジュールします。

選択内容...	バックアップの実行内容...
毎時	指定した時間に毎時。
毎日	選択した曜日の選択した時間ごと： <ol style="list-style-type: none"> <li>a. [曜日] チェックボックスをオンまたはオフにして、バックアップを実行する曜日を指定します。</li> <li>b. [時間] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時間を指定します。</li> </ol>
毎月	選択した月日の選択した時間ごと： <ol style="list-style-type: none"> <li>a. [毎月] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する月日 ([第1週] [第2週] [第3週] [第4週] [最終週]) を指定します。</li> <li>b. [曜日] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する曜日を指定します。</li> <li>c. [時間] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時間を指定します。</li> </ol>

- c. [次へ] ボタンをクリックして、初回バックアップ画面を表示します。初回バックアップ画面に表示される内容は、p. 12のステップ13で選択したバックアップのタイプによって異なります。(p. 14の図7を参照してください)。

15. 初回の [バックアップ] 画面で以下の操作を実行します：

- 最初のバックアップを実行 – [バックアップを有効にする] をクリックする前に、「ファイルのバックアップ」 p. 31 を参照してください。
- [バックアップをスキップ] をクリックして、バックアップをスキップします。

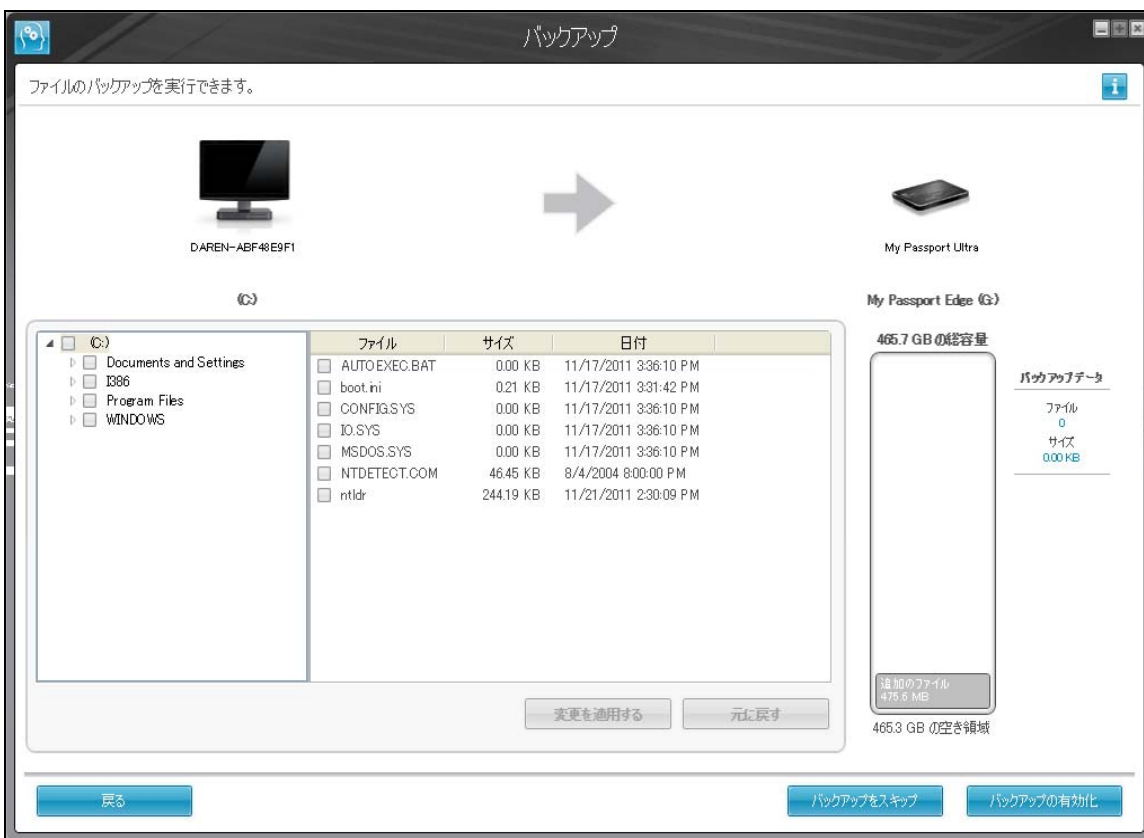
16. [OK] をクリックして [インストールとセットアップが完了] ダイアログを閉じます。





初回のバックアップ画面（カテゴリのバックアップの場合）

ご注意：このバックアップ画面は、初回の1回のみ表示される画面です（WD SmartWareソフトウェアをご使用のコンピュータにインストールした場合）。その後は、ソフトウェアを起動すると[ホーム]画面が表示され、処理を選択することができます。



初回のバックアップ画面（ファイルバックアップの場合）

図7 初回の「バックアップ」画面

3

## WD SmartWare ソフトウェア機能概要

この章では、WD SmartWare ソフトウェアの機能の概要を説明します。この章では以下のトピックについて説明します。

- [ホーム] 画面
- [バックアップ] 画面
- [復元] 画面
- [設定] 画面
- [ヘルプ] 画面

WD SmartWare の操作項目と機能はすべて、5つの各タブを選択すると表示される以下の画面で使用できます。

... タブ表示	説明 ...
ホーム	<p>デバイスアイコンおよびコンテンツゲージは、選択したバックアップソースデバイスと使用可能な各バックアップターゲットデバイスの合計容量とカテゴリ構成を示します。</p> <p>選択したバックアップソースデバイスに複数の内蔵ハードドライブがある場合または複数のハードドライブパーティションがある場合、あるいは使用可能なバックアップターゲットデバイスに複数のパーティションまたはネットワーク共有がある場合、WD SmartWare ソフトウェアには、処理の対象を選択するボックスが表示されます。</p> <p>詳細については、「[ホーム] 画面」 p. 16を参照してください。</p>
バックアップ	<p>2つのダイアログのいずれかが、バックアップモードの選択に応じて表示されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カテゴリごとのダイアログはコンテンツゲージを提供します。コンテンツゲージには、選択したバックアップソースデバイスおよびバックアップターゲットデバイスの合計容量とカテゴリ構成が表示されます。</li> <li>• ファイルごとのダイアログには、選択したバックアップソースデバイスのフォルダ一覧が表示されます。一覧を使用して、バックアップするファイルおよびフォルダを選択します。</li> </ul> <p>詳細については、「[バックアップ] 画面」 p. 23を参照してください。</p>
復元	<p>次の操作対象を選択する画面です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 復元元ファイルのバックアップボリューム</li> <li>• 復元したファイルをコピーする場所</li> <li>• 復元したいファイル</li> </ul> <p>詳細については、「[復元] 画面」 p. 25を参照してください。</p>

(続く)

... タブ表示	説明...
設定	<p>次の操作を行うためのボタンが表示されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルごとに保持するバックアップバージョンの数を指定する</li> <li>• 復元したファイルを保存するフォルダとして、異なるフォルダを指定する</li> <li>• WD SmartWare のアップデートを自動的に確認する</li> <li>• WD SmartWare Pro ソフトウェアからアクセスするリモート Dropbox フォルダを設定する</li> </ul> <p>詳細については、「[設定] 画面」 p. 28 を参照してください。</p>
ヘルプ	<p>以下の情報に簡単にアクセスできます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルのバックアップと復元、およびソフトウェア設定に関する詳細情報</li> <li>• WD カスタマーサポートおよびソフトウェアアップデートサービス</li> </ul> <p>詳細については、「[ヘルプ] 画面」 p. 29 を参照してください。</p>

各表示で、WD SmartWare は接続されているデバイスのハードウェア構成に応じて名称およびグラフィック画像が変更されます。

ご注意: 詳細な [ヘルプ] 画面の情報に加えて、各 WD SmartWare 画面から簡潔なオンラインヘルプに簡単にアクセスでき、バックアップ、復元および設定タスクに役立てることができます。操作で確信が持てない場合は、表示の右上隅にある情報/オンラインヘルプアイコンをクリックしてみてください。



オンラインヘルプを確認後、情報/オンラインヘルプ画面を閉じる場合は、画面の右上隅にある **X** アイコンをクリックします。

## [ホーム] 画面

[ホーム] 画面を使ってデバイスのコンテンツゲージを表示し、以下の事項を選択します。

- バックアップするファイルが存在するソースデバイスまたはドライブパーティション
- ファイルのバックアップ先またはファイルの復元元となるターゲットデバイスまたはデバイスパーティション/ネットワーク共有

[ホーム] 画面の機能概要については、p. 17 の図 8 および 18 ページの「表 1」を参照してください。

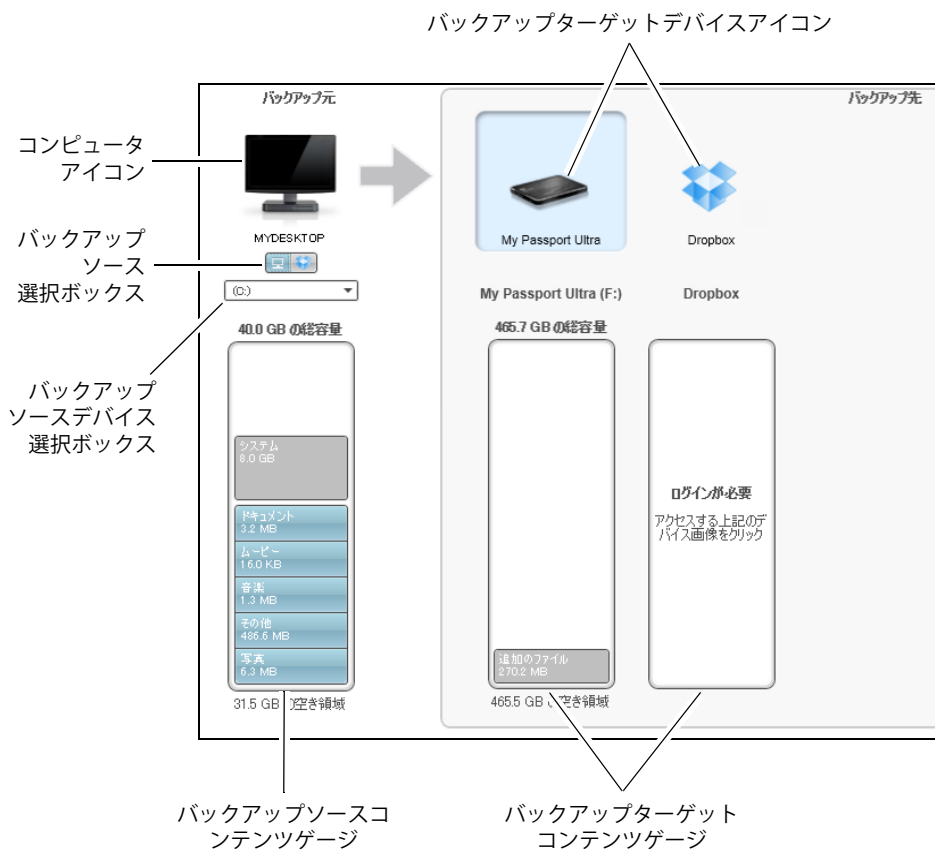
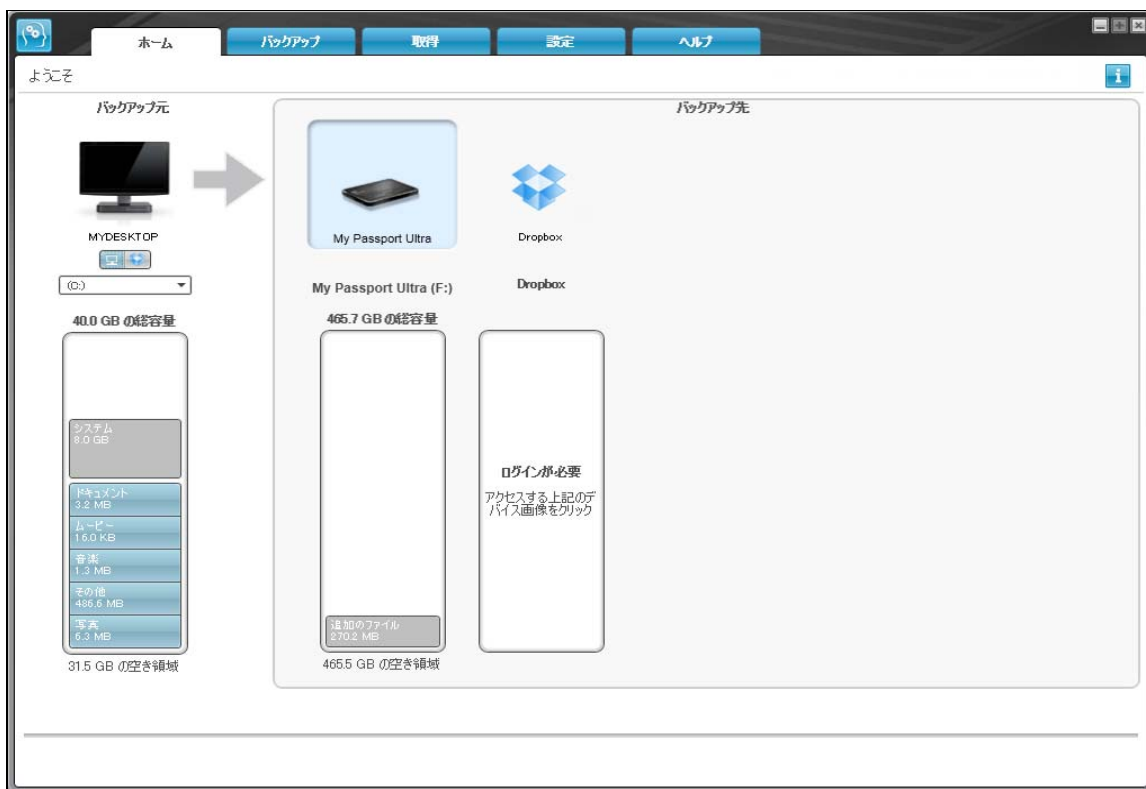






図8 [ホーム] 画面

表1 [ホーム] 画面の機能の説明

表示項目	詳細
<p>アクティベーション コード必須アイコン</p>	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>デバイスがWD以外のデバイスか、またはサポートされていないWDデバイスであり、アクセスするには有効なアクティベーションコードとWD SmartWare Proソフトウェアへのアップグレードが必要であることを示します。</p>
<p>バックアップソース Dropboxアイコン</p>	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>バックアップ操作でDropboxオプションが選択されたことを示します。</p> <p>このアイコンを右クリックし、<b>[アカウントの選択]</b> を選択すると、<b>[Dropbox ログインが必要]</b> ダイアログが表示されます。このダイアログでは、WD SmartWare ProソフトウェアによるアクセスのためのDropboxアカウントを設定します。</p> 
<p>バックアップソース コンピュータアイコン</p>	<p>バックアップ操作でコンピュータオプションが選択されたことを示します。選択したドライブまたはドライブパーティションの名前が提供されます。</p> <p>このアイコンを右クリックして表示されるメニューには、以下のオプションがあります。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>開く</b> - コンピュータのファイル管理ユーティリティのリストが表示されます。</li> <li>• <b>プロパティ</b> - 選択されたハードドライブまたはドライブパーティションのためのWindowsの<b>[システムのプロパティ]</b>ダイアログが表示されます。</li> </ul>

(続く)


表1 [ホーム] 画面の機能の説明 (続く)

表示項目	詳細												
バックアップソース コンテンツゲージ	<p>選択したバックアップソースデバイスに関するコンテンツゲージには、カテゴリタイプのバックアップ対象となるすべてのファイルが、以下の6つのカテゴリ内に青い背景色で表示されます。</p> <p><b>ファイルのカテゴリ 対象ファイルの拡張子</b></p> <table border="0"> <tr> <td>ドキュメント</td> <td>.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、およびその他のドキュメントの拡張子</td> </tr> <tr> <td>メール</td> <td>.mail、.msg、.pst、およびその他のメールの拡張子</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>.mp3、.wav、.wma、およびその他の音楽の拡張子</td> </tr> <tr> <td>ムービー</td> <td>.avi、.mov、.mp4、およびその他のムービーの拡張子</td> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>.gif、.jpg、.png、およびその他の写真の拡張子</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>主要な5つのカテゴリに属さないその他のファイル</td> </tr> </table> <p>対象ファイル拡張子の一覧については、<a href="http://support.wdc.com">http://support.wdc.com</a> にアクセスして、WD ナレッジベースの回答ID 3644 を検索してください。</p> <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗い灰色の背景で表示されるシステムカテゴリは、カテゴリタイプのバックアップの対象にならない次のオペレーティングシステムファイルです。(システムファイル、プログラムファイル、アプリケーション、.tmp および .log ファイルなどの作業ファイル、および Temp フォルダに保存されているすべてのファイル)。 ファイルバックアップを実行するとき、[システム] カテゴリの名前が [除外] に変更されます。[除外] カテゴリには、ファイルバックアップに含まれなかったすべてのファイルが含まれます。</li> <li>• 暗い灰色の背景で表示される復元カテゴリは、前のバックアップから復元されたファイルを示します。これらのファイルはカテゴリバックアップには利用できません。</li> <li>• バックアップターゲットデバイスに対するコンテンツゲージの [追加ファイル] にはデバイスをインストールしたときにオペレーティングシステムが配置したシステムファイルと隠されたファイルが示されます。</li> <li>• Outlook.pst ファイルは頻繁に変更されるため、連続バックアップでは Outlook.pst ファイルがバックアップされるのは24時間に一度のみです。この除外は他のメールアプリケーションファイルには適用されませんスケジュールバックアップの場合、Outlook.pst ファイルはスケジュールに従ってバックアップされます。</li> <li>• マウスポインタをカテゴリの上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます。</li> </ul>	ドキュメント	.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、およびその他のドキュメントの拡張子	メール	.mail、.msg、.pst、およびその他のメールの拡張子	音楽	.mp3、.wav、.wma、およびその他の音楽の拡張子	ムービー	.avi、.mov、.mp4、およびその他のムービーの拡張子	写真	.gif、.jpg、.png、およびその他の写真の拡張子	その他	主要な5つのカテゴリに属さないその他のファイル
ドキュメント	.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、およびその他のドキュメントの拡張子												
メール	.mail、.msg、.pst、およびその他のメールの拡張子												
音楽	.mp3、.wav、.wma、およびその他の音楽の拡張子												
ムービー	.avi、.mov、.mp4、およびその他のムービーの拡張子												
写真	.gif、.jpg、.png、およびその他の写真の拡張子												
その他	主要な5つのカテゴリに属さないその他のファイル												

(続く)




表1 [ホーム] 画面の機能の説明 (続く)

表示項目	詳細
バックアップソース デバイス選択ボックス	コンピュータオプションが選択された場合、バックアップソースデバイスとして使用可能なコンピュータの内蔵ハードドライブ、ハードドライブパーティション、および直接接続ドライブのリストが表示されます。
バックアップソース 選択ボックス	<p>バックアップ対象のソースデバイスのタイプを選択するためのオプションを提供します：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピュータオプションが選択された場合、コンピュータアイコンが表示され、コンピュータの内蔵ハードドライブ、ハードドライブパーティション、および直接接続ドライブがすべてデバイス選択ボックス内に表示されます。</li> <li>• Dropbox オプションを選択した場合、Dropbox アイコンが表示され、デバイス選択ボックスは非表示になります。</li> </ul>
バックアップターゲット コンテンツゲージ	<p>WD SmartWare のインストール後 – 初回のバックアップを実行する前、またはデバイスからファイルをコピーする前に、バックアップターゲットのコンテンツゲージには、[追加のファイル] カテゴリのファイルが少数表示されます。これらはデバイスをインストールしたときにコンピュータの OS が置いたシステムファイルおよび隠しファイルです。</p> <p>デバイスへのファイルバックアップまたはファイルコピーの実行後、バックアップターゲットのコンテンツゲージには、以下のものが表示されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バックアップソースデバイスのコンテンツゲージと同じカテゴリにバックアップされたすべてのファイル(「バックアップソース コンテンツゲージ」 p. 19を参照してください)</li> <li>• デバイスにコピーまたは保存された [追加のファイル] カテゴリ内のその他のファイル</li> </ul>
バックアップターゲット デバイスアイコン	<p>コンピュータに接続されたバックアップターゲットデバイスの名前を提供します。</p> <p>サポートされている複数のドライブをコンピュータに接続している場合、バックアップまたは復元に使用するドライブを左クリックします。WD SmartWare ソフトウェアは、選択したドライブを明るい青色の背景でハイライト表示します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>選択された My Passport ドライブ</p> </div>


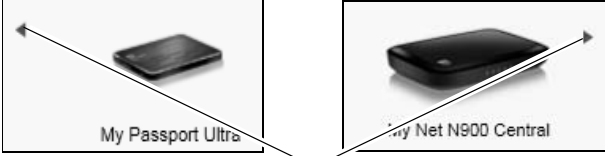




(続く)

表1 [ホーム] 画面の機能の説明 (続く)

表示項目	詳細
<p>バックアップターゲットデバイスアイコン (続き)</p>	<p>直接接続ドライブアイコンを右クリックして表示されるメニューには、以下のオプションがあります。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>開く</b> - コンピュータのファイル管理ユーティリティのデバイスリストが表示されます。</li> <li>• <b>プロパティ</b> - Windows の [ドライブ プロパティ] ダイアログが表示されます。</li> <li>• <b>安全な取り外し</b> - ドライブを取り外すための準備が行われます。</li> </ul> <p>ご注意: [安全な取り外し] オプションは、WD 製品以外のドライブでは利用できません。</p> <p>ネットワーク接続デバイスアイコンを右クリックしてして表示されるメニューには、以下のオプションがあります。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>開く</b> - コンピュータのファイル管理ユーティリティのデバイスリストが表示されます。</li> <li>• <b>ダッシュボード</b> - デバイス設定のための Web インターフェースを表示します。</li> <li>• <b>マップ</b> - Windows の [ネットワークドライブのマッピング] ダイアログを表示します。</li> <li>• <b>ショートカットの作成</b> - デバイスへのショートカットをデスクトップ画面に追加します。</li> <li>• <b>アラート</b> - WD SmartWare WD アラートレポートを表示します。</li> <li>• <b>プロパティ</b> - デバイスの詳細およびトラブルシューティング情報を表示します。</li> <li>• <b>シャットダウン</b> - デバイスの準備を行い、デバイスをシャットダウンします (My Net N600、N750、N900、N900 Central ルータでは使用できません)。</li> </ul> <p>Dropbox フォルダアイコンを右クリックすると、[Dropbox ログインが必要] ダイアログへのリンクが表示されます。このダイアログでは、WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定します。</p>

(続く)

表1 [ホーム] 画面の機能の説明 (続く)

表示項目	詳細
バックアップターゲットデバイス選択ボックス	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>バックアップターゲットデバイス選択ボックスは、複数のドライブパーティションまたはネットワーク共有を持つサポートされている個々のバックアップターゲットデバイスのアイコンの下に表示されます。ここで選択するドライブパーティションまたはネットワーク共有は、以降のバックアップ操作ではターゲットとなり、また以降の復元操作ではソースとなります。</p>
デバイス表示スクロールポインタ	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>スクロールポインタ</p> <p>1つのWD SmartWareのインストールで、システムが処理できる最大数の外付けデバイスに対応します。接続されているデバイス数のすべてを表示できない場合、WD SmartWare ソフトウェアの左右にあるデバイス表示スクロールポインタを使って、すべてのデバイスを確認することができます。</p>
デバイスロックアイコン	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>デバイスがパスワードで保護され、ロックされていることを示します。</p>
無料トライアルカウントダウンアイコン	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>WD SmartWare Pro ソフトウェアアップグレードの30日間無料トライアルを使用して、WD以外のデバイス、サポートされていないデバイス、およびリモート Dropbox フォルダにアクセス中であることを示します。</p>
ログイン必須アイコン	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>セキュリティ保護されたネットワーク接続ストレージデバイスにアクセスするには有効なログインユーザー名とパスワードが必要であることを示します。</p>
書き込み可能パーティションなしアイコン	<p>p. 17の図8には表示されていません：</p>  <p>WD SmartWare ソフトウェアがデバイスに有効なボリュームまたは共有を見つけられない場合に表示されます。WD SmartWare のバックアップ機能および復元機能でデバイスを選択するには、そのデバイスを事前に設定しておく必要があります。</p>

## [バックアップ] 画面

WD SmartWare ソフトウェアは、バックアップするファイルの方法に応じて、2種類の [バックアップ] 画面表示のいずれか1つを表示します。

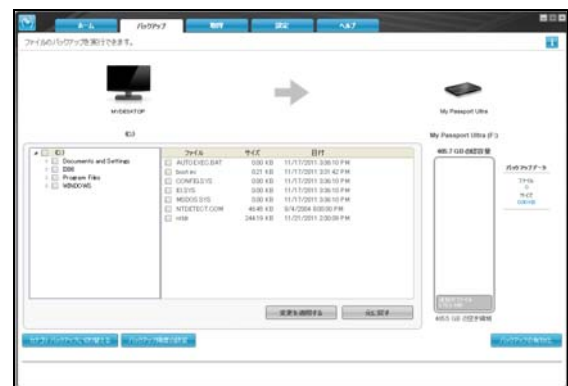
- カテゴリごと - コンテンツゲージの表示内容と同様
- ファイルごと - コンピュータの内蔵ハードドライブのフォルダ構成と同様

WD SmartWare の [バックアップ] 画面でバックアップおよびバックアップ操作を管理したいファイルまたはファイルのカテゴリの選択を行います。

[バックアップ] 画面の機能概要については、図9および24 ページの「表2」を参照してください。



カテゴリバックアップ表示

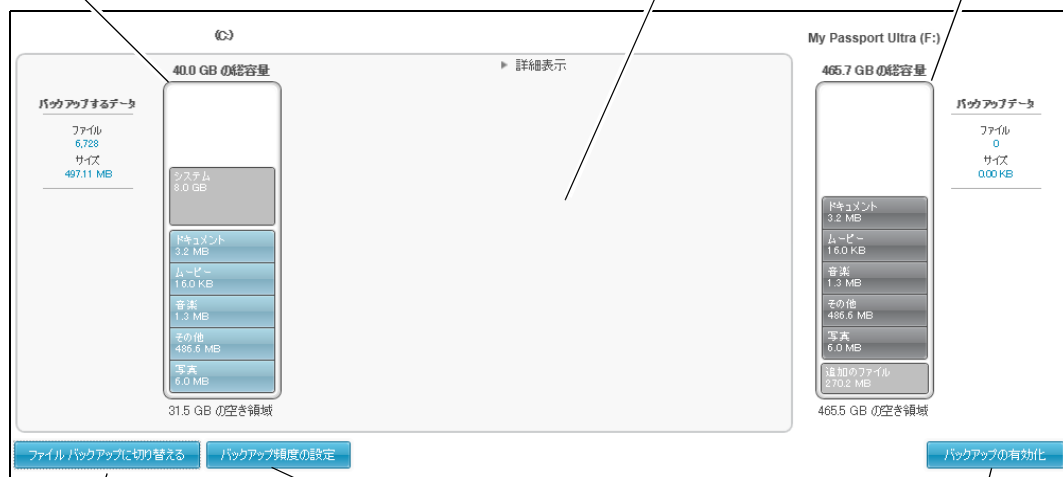


ファイルバックアップ表示

バックアップソースコンテンツゲージ

バックアップ詳細表示領域

バックアップターゲット  
コンテンツゲージ



[ファイルバックアップに切り替える/カテゴリバックアップに切り替える] トグルボタン

[バックアップ頻度の設定] ボタン

バックアップの有効化/無効化  
トグルボタン


図9 [バックアップ] 画面

表2 [バックアップ] 画面の機能の説明

表示項目	詳細
<p>バックアップ詳細表示領域</p>	<p>WD SmartWareのデフォルト設定では、カテゴリバックアップモードで全ファイルのバックアップを行う設定となっています。この設定では、バックアップ詳細表示領域は空白です。</p> <p>[詳細表示] をクリックするとバックアップファイルの選択ボックスが表示され、バックアップするファイルのカテゴリを指定できます：</p>  <p>バックアップファイル選択ボックスで [変更を適用する] をクリックすると、カスタムバックアッププランが作成され、コンテンツゲージが更新されます。</p> <p>[ファイルバックアップに切り替える] をクリックすると、フォルダ一覧が表示され、バックアップする個々のファイルまたはフォルダを指定できます：</p>  <p>ご注意: [バックアップ] 画面のバックアップソースデバイスコンテンツゲージに置き換わり、フォルダ構成が表示されます。</p> <p>WD SmartWareのデフォルト設定では、ファイルバックアップモードの場合、選択されているファイル/フォルダは<b>ありません</b>。バックアップしたいファイルまたはフォルダを選択した後、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [変更を適用する] では、最近の選択内容を使用してカスタムバックアッププランが作成されます。</li> <li>• [元に戻す] をクリックすると直近の選択が解除され、前に適用された設定が再表示されます。</li> </ul>

(続く)

表2 [バックアップ] 画面の機能の説明 (続く)

表示項目	詳細
[バックアップスケジュールリマインダ] ボタン	<p>p. 23の図9には表示されていません：</p>  <p>スケジュールバックアップの場合、このボタンをクリックすると以下の内容のステータスダイアログが表示されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次回のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。</li> <li>• スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行するための[今すぐバックアップ] ボタンが提供されます。</li> </ul>
バックアップソースコンテンツページ	[ホーム] 画面に表示されるバックアップソースデバイスのコンテンツページと同様（「バックアップソース コンテンツページ」p. 19を参照してください）。
バックアップターゲットコンテンツページ	[ホーム] 画面に表示されるバックアップターゲットデバイスのコンテンツページと同様（「バックアップターゲットコンテンツページ」p. 20を参照してください）。
[ファイルバックアップに切り替える/カテゴリバックアップに切り替える] トグルボタン	<p>カテゴリバックアップとファイルバックアップのモードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カテゴリモード – コンテンツページに示されるカテゴリに従ってファイルのバックアップを行います。 カテゴリモードの場合、ボタン名は <b>[ファイルバックアップに切り替える]</b> です。</li> <li>• ファイルモード – 選択したバックアップソースデバイスのフォルダ構成によるファイルのバックアップを行います。 ファイルモードの場合、ボタン名は <b>[カテゴリバックアップに切り替える]</b> です。</li> </ul>
バックアップの有効化/無効化トグルボタン	バックアップを開始/停止します。
[バックアップ頻度の設定] ボタン	連続バックアップまたはスケジュールバックアップのいずれかを選択すると [バックアップ頻度の設定] ダイアログが開きます。連続バックアップでは常時バックアップが実行されます。スケジュールバックアップでは指定された日時にのみバックアップが実行されます。

## 【復元】 画面

WD SmartWare ソフトウェアの [復元] 画面では、お客様が手順を確認しながらバックアップファイルの検出処理および選択したバックアップソースデバイスへのコピー処理が行えます。

- 復元するバックアップボリュームの選択
- 復元したファイルの保存先の選択
- 選択したバックアップターゲットデバイスから復元するファイルの選択

[復元] 画面の機能概要については、図10および26 ページの「表3」を参照してください。

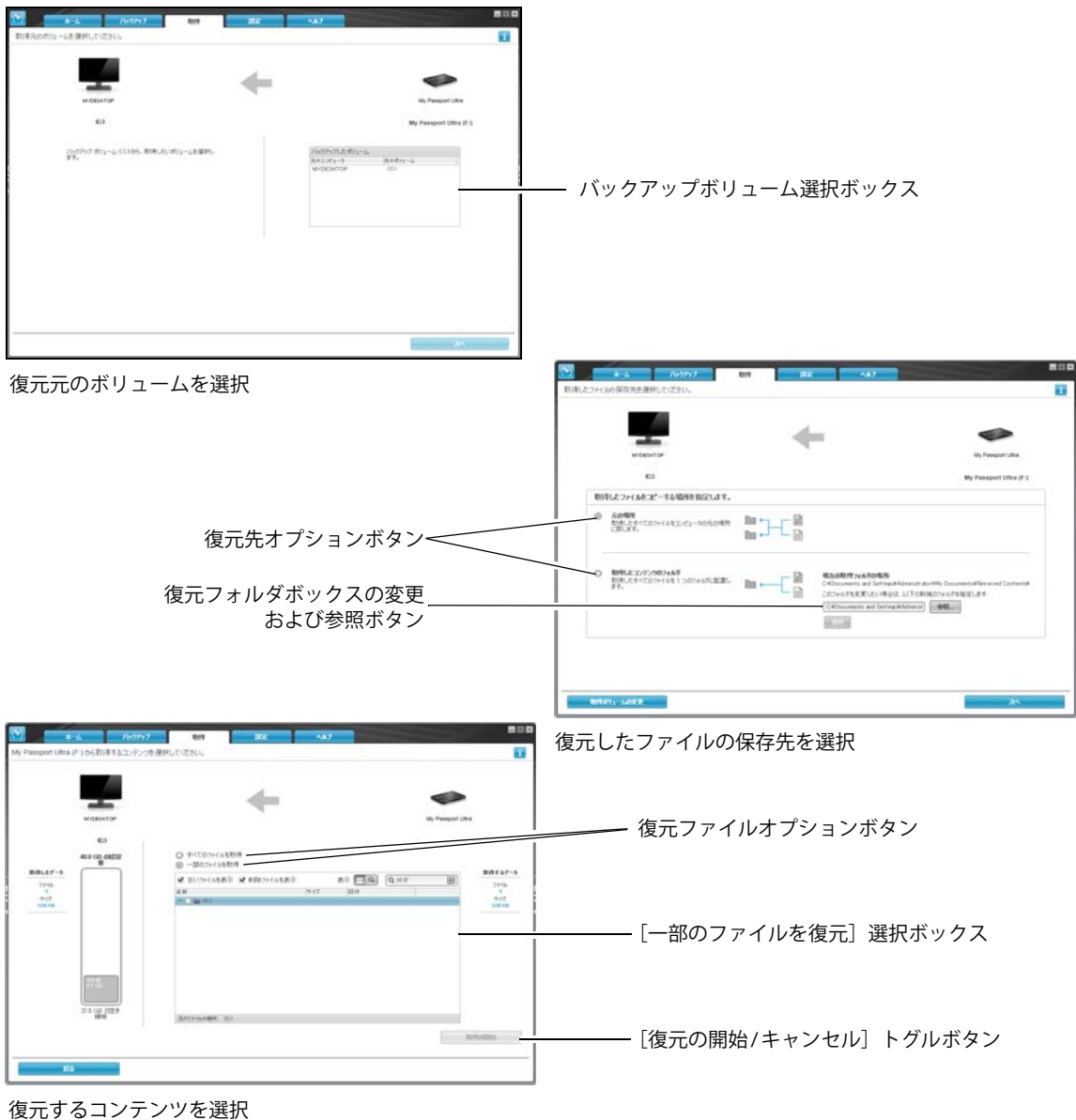



図10 [復元] 画面

表3 [復元] 画面の機能の説明

表示項目	詳細
バックアップボリューム 選択ボックス	<p>選択したバックアップターゲットデバイスでファイルを復元できるバックアップ済みボリュームを一覧表示します。</p> <p>バックアップボリュームを選択しないと、[次へ] をクリックして復元操作を続行することができません。</p>
復元フォルダボックスの 変更および検索ボタン	<p>WD SmartWareはデフォルトで、ご利用のユーザー名の [マイドキュメント] フォルダに [復元したコンテンツ] という名前のフォルダを作成します。別のフォルダを指定したい場合は、検索機能を使って [適用] をクリックします。</p>

(続く)

表3 [復元] 画面の機能の説明 (続く)

表示項目	詳細
復元先オプションボタン	<p>選択したバックアップターゲットデバイスから復元したファイルのコピー先を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[元の場所]</b> は復元されたファイルをバックアップされた元の同じ場所にコピーします</li> <li>• <b>[復元したコンテンツ]</b> は復元したすべてのファイルを単一のフォルダにコピーします</li> </ul>
復元ファイルオプションボタン	<p>デフォルト設定では <b>[一部のファイルを復元]</b> オプションが選択され、WD SmartWareは <b>[一部のファイルを復元]</b> 選択ボックスを表示します。選択ボックスを使用して、ファイルまたはフォルダのみを検索して復元することができます。</p> <p><b>[すべてのファイルを復元]</b> オプションを選択すると、<b>[一部のファイルを復元]</b> 選択ボックスが閉じられ、WD SmartWare ソフトウェアは選択したバックアップターゲットデバイスの選択したバックアップ ボリュームからすべてのファイルを復元します。</p>
[一部のファイルを復元] 選択ボックス	<p>選択したバックアップボリュームからのすべてのファイルを、フォルダ一覧で表示します。フォルダの一覧には、個々のファイルまたはフォルダを選択できるチェックボックスが表示されます。</p> 
[復元の開始/キャンセル] トグルボタン	<p>復元の開始およびキャンセルを行って、復元操作を制御します。</p>



## 【設定】画面

【設定】画面の機能概要については、図11および表4を参照してください。

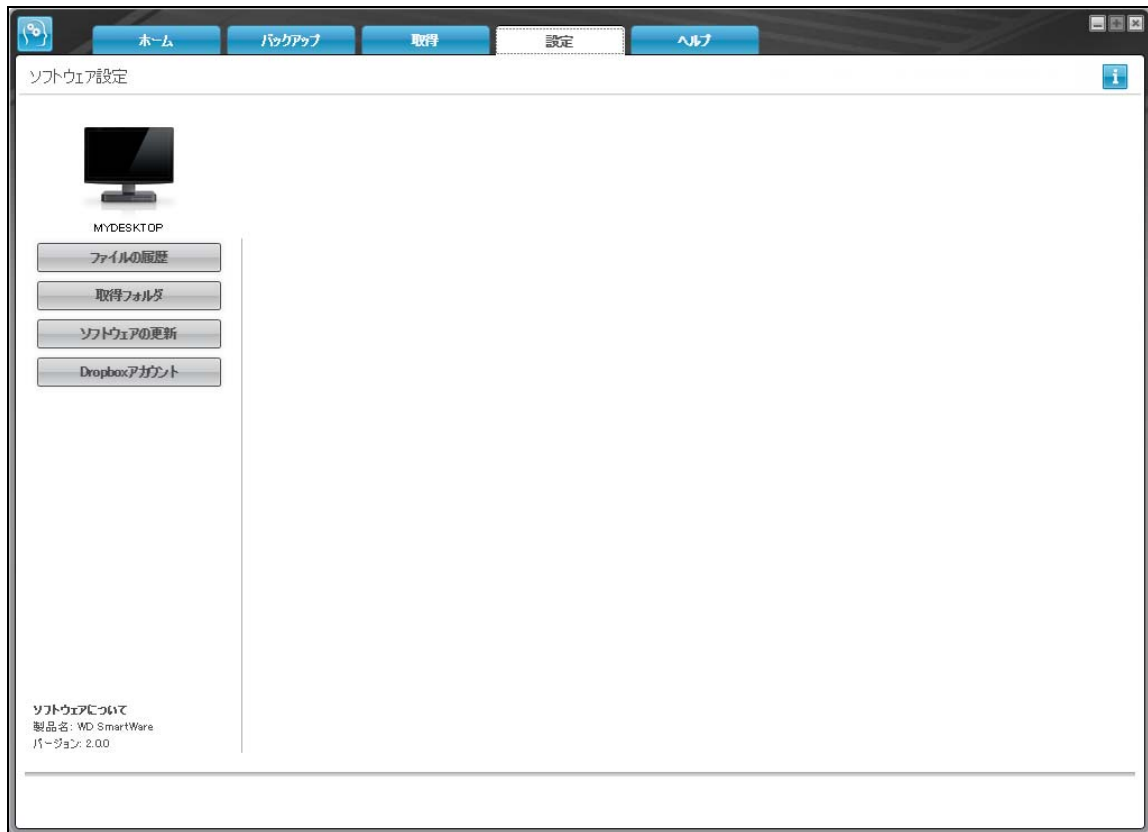


図11 【設定】画面

表4 【設定】画面の機能の説明

表示項目	詳細
[Dropbox アカウント] ボタン	WD SmartWare Pro ソフトウェアからアクセスするリモート Dropbox フォルダを設定するための [Dropbox アカウント] ダイアログが表示されます。
[ファイルの履歴] ボタン	[ファイルの履歴] ダイアログを表示して、ファイルごとに保存したいバックアップバージョンの数を指定することができます。
[復元フォルダ] ボタン	[復元フォルダの設定] ダイアログを表示して、ファイルに別の保存先を指定することができます。
[ソフトウェアの更新] ボタン	[ソフトウェアの更新] ダイアログを表示して、ソフトウェアの更新の自動確認オプションを有効、または無効にすることができます。

## 【ヘルプ】 画面

WD SmartWareの【ヘルプ】画面を使うと、ラーニングセンターのトピックやオンラインサポートサービスへのリンクを簡単に利用できます。

【ヘルプ】画面の機能概要については、図12および表5を参照してください。

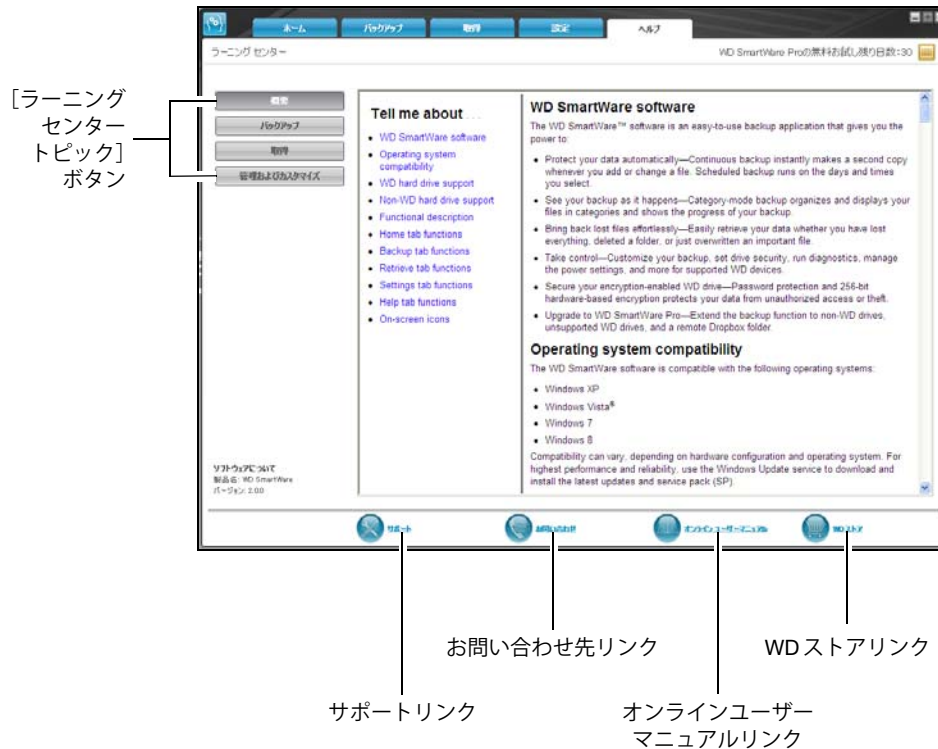


図12 【ヘルプ】画面

表5 【ヘルプ】画面の機能の説明

表示項目	詳細
お問い合わせ先リンク	ブラウザを使用して <a href="http://support.wdc.com/contact">http://support.wdc.com/contact</a> にアクセスし、お問い合わせ先をご確認いただけます。
[ラーニングセンタートピック] ボタン	主なラーニングセンターのヘルプトピックを表示します： <ul style="list-style-type: none"> <li>概要</li> <li>バックアップ</li> <li>復元</li> <li>管理およびカスタマイズ</li> </ul>
オンラインユーザーマニュアルリンク	ブラウザを使用して以下のURLにアクセスし、WD SmartWare マニュアルを参照することができます： <p><a href="http://www.wdc.com/wdproducts/wdsmartware/um.asp">http://www.wdc.com/wdproducts/wdsmartware/um.asp</a></p> <p>ここで、WD デバイスのオンラインユーザーマニュアルを選択して表示することができます。</p>

(続く)

表5 [ヘルプ] 画面の機能の説明 (続く)

表示項目	詳細
サポートリンク	ブラウザを使用して <a href="http://support.wdc.com">http://support.wdc.com</a> にアクセスし、「サービス&サポート」ページを参照することができます。
WDストアリンク	ブラウザを使用して以下のURLにアクセスし、WDオンラインストアをご利用いただけます： <a href="http://store.westerndigital.com/store/wdus">http://store.westerndigital.com/store/wdus</a>

## 4

## ファイルのバックアップ

この章では以下のトピックについて説明します。

バックアップ機能の仕組み  
ファイルのバックアップ

### バックアップ機能の仕組み

WD SmartWare ソフトウェアはすべての大事なファイル（音楽、映画、写真、文書、メール、およびその他のファイル）を選択されたバックアップターゲットデバイスに自動的にバックアップします。連続バックアップでは、選択されたバックアップソースデバイスにファイルを追加あるいは変更すると直ぐに 2 次コピーが作成されます。スケジュールバックアップでは、選択した日時にバックアップが実行されます。

WD SmartWare ソフトウェアが選択されたバックアップソースデバイスのコンテンツを様々なタイプに分類した後は、**[バックアップを有効にする]** ボタンをクリックすると選択されたバックアップターゲットデバイスにそれらをすべてバックアップします。またユーザーは、特定のファイル、フォルダ、またはファイルのカテゴリを選択してバックアップすることができます。

バックアップを実行すると、WD SmartWare ソフトウェアにより次のファイルがバックアップされ、ファイルが保護されます。

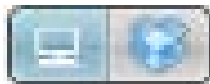
- 選択されたバックアップソースデバイスに作成される、またはコピーされる新しいファイル
- 変更された既存のファイル

この保護は自動的に行われ、WD SmartWare ソフトウェアはユーザーが何をしなくてもそれを実行し、コンピュータに接続されている選択されたバックアップソースデバイスとバックアップターゲットデバイスに任せます。

**ご注意:** バックアップ保護は、バックアップソースデバイスとバックアップターゲットデバイスがコンピュータに接続されている限り、自動的に実行されます。したがって、どちらかのデバイスをコンピュータから外して再接続すると、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップソースデバイスを再スキャンし、新しい、あるいは変更されたファイルを探して自動的なバックアップ保護を再開します。

### ファイルのバックアップ

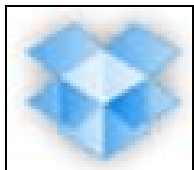
1. [ホーム] 画面の [バックアップソース] 領域で、バックアップ対象のファイルを持つデバイスを選択します。
  - a. バックアップソースの選択ボックスを使用して、ファイルのバックアップをローカルハードドライブから行うのか、リモート Dropbox フォルダから行うのかを指定します。



- デフォルトでは、コンピュータオプションが選択されます。このコンピュータアイコンは、バックアップソースデバイスが内蔵ハードドライブ、ドライブパーティション、またはローカルに直接接続された外付けハードドライブのいずれかであることを示します。



- Dropbox オプションを選択した場合、Dropbox アイコンが表示されます。このアイコンは、バックアップソースデバイスがリモート Dropbox フォルダであることを示します。



- b. 選択されたバックアップソースデバイスに複数の内蔵ハードドライブ、複数のドライブパーティションまたは外付けハードドライブが存在している場合は、バックアップソースデバイス選択ボックスを使用してバックアップ対象にする1つのソースを選択します。



2. [ホーム] 画面の [バックアップターゲット] 領域で、以下の操作を行います。

- a. コンピュータに複数のバックアップターゲットデバイスを接続している場合は、バックアップ対象にする1つのターゲットを選択します。



- b. 選択したデバイスが明るい青色の背景でハイライト表示されることを確認します。
- c. 選択したバックアップターゲットデバイスに複数のドライブパーティションまたはネットワーク共有が存在している場合、デバイスアイコンの下にあるバックアップターゲットデバイス選択ボックスを使用して1つのターゲットを選択します。



3. [バックアップ] タブをクリックし、[バックアップ] 画面を表示します (p. 23の図9を参照)。

4. WD SmartWare ソフトウェアの初期/デフォルト設定は、連続バックアップに設定されています。スケジュールバックアップを設定する場合は、**[バックアップ頻度の設定]** をクリックして **[バックアップ頻度の設定]** ダイアログを表示します。



5. **[バックアップ頻度]** ダイアログで、以下の操作を行います。
- [スケジュールバックアップ]** オプションを選択します。
  - [毎時]**、**[毎日]**、または**[毎月]** のオプションを選択し、チェックボックスと選択ボックスを使用してバックアップをスケジュールします。

選択内容...	バックアップの実行内容...
<b>毎時</b>	指定した時間に毎時。
<b>毎日</b>	選択した曜日の選択した時間ごと： <ol style="list-style-type: none"> <li><b>[曜日]</b> チェックボックスをオンまたはオフにして、バックアップを実行する曜日を指定します。</li> <li><b>[時間]</b> 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時間を指定します。</li> </ol>
<b>毎月</b>	選択した月日の選択した時間ごと： <ol style="list-style-type: none"> <li><b>[毎月]</b> 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する月日（<b>[第1週]</b> <b>[第2週]</b> <b>[第3週]</b> <b>[第4週]</b> <b>[最終週]</b>）を指定します。</li> <li><b>[曜日]</b> 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する曜日を指定します。</li> <li><b>[時間]</b> 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時間を指定します。</li> </ol>

- [OK]** をクリックして、スケジュールを保存し、**[バックアップ頻度の設定]** ダイアログを閉じます。

6. [バックアップ] 画面で以下の操作を実行します。

内蔵ハードディスクドライブに... 選択したバックアップソースデバイスで、以下の操作を行います	操作...
すべてのファイルカテゴリ	ステップ 7に進みます
選択したファイルカテゴリ	p. 35のステップ 8に進みます
すべてのファイルとフォルダ	p. 36のステップ 9に進みます
選択したファイルとフォルダ	p. 37のステップ 10に進みます

7. 選択したバックアップソースデバイスのすべてのカテゴリのファイルをバックアップするには、以下の操作を行います。
- バックアップ モードがカテゴリになっており、[バックアップ] 画面の左上端に [カテゴリのバックアップを実行できます] が表示されることを確認します。  
バックアップモードとして [ファイルバックアップ] が選択され、[ファイルのバックアップを実行できます] が表示されている場合は、[カテゴリのバックアップに切り替える] ボタンをクリックし、表示される [バックアッププランを切り替える] ダイアログで [OK] をクリックします。
  - [詳細表示] をクリックしてカテゴリ別バックアップ選択ボックスを開き、6つのカテゴリすべてのチェックボックスが選択されていることを確認します。



- オフになっているチェックボックスをオンにし、[変更を適用する] をクリックしてカスタムバックアッププランを作成し、コンテンツゲージを更新します。
- [バックアップを有効にする] をクリックし、指定したバックアップ頻度でバックアップソースデバイスのすべてのカテゴリのファイルのバックアップを開始し、p. 39のステップ 11に進みます。

ご注意: p. 33のステップ 5 でスケジュールバックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、[スケジュールバックアップステータス] ダイアログが表示されます。このダイアログには、次回のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。



スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、[今すぐバックアップ] をクリックします。

8. 選択したバックアップソースデバイスの選択したカテゴリのファイルをバックアップするには、以下の操作を行います。
  - a. バックアップ モードがカテゴリになっており、[バックアップ] 画面の左上端に [カテゴリのバックアップを実行できます] が表示されることを確認します。  
バックアップモードとして [ファイルバックアップ] が選択され、[ファイルのバックアップを実行できます] が表示されている場合は、[カテゴリのバックアップに切り替える] ボタンをクリックし、表示される [バックアッププランを切り替える] ダイアログで [OK] をクリックします。
  - b. [詳細表示] をクリックしてカテゴリ別バックアップ選択ボックスを表示します：





- c. [カテゴリを選択してバックアップ] ボックスで、以下の手順を実行します：
  - バックアップから除外するファイルのカテゴリのチェックボックスをオフにします。
  - バックアップに含めるファイルのカテゴリのチェックボックスをオンにします。
- d. [変更を適用する] をクリックしてカスタムバックアッププランを作成し、コンテンツページを更新します。
- e. [バックアップを有効にする] をクリックし、指定したバックアップ頻度で選択したバックアップソースデバイスの選択したカテゴリのファイルのバックアップを開始し、p. 39のステップ 11に進みます。

ご注意: p. 33のステップ 5でスケジュールバックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、[スケジュールバックアップステータス] ダイアログが表示されます。このダイアログには、次のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。



スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、[今すぐバックアップ] をクリックします。

9. 選択したバックアップソースデバイスのすべてのファイルとフォルダをバックアップするには、以下の操作を行います。

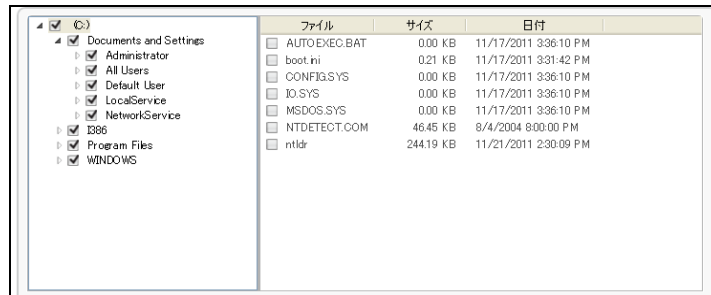
- a. バックアップモードとして [ファイルバックアップ] が選択され、[バックアップ] 画面の左上端に [ファイルのバックアップを実行できます] が表示されていることを確認します。

バックアップモードがカテゴリで [カテゴリのバックアップを実行できます] が表示されている場合は、[ファイルバックアップに切り替える] ボタンをクリックして [バックアップ計画を切り替える] プロンプトが表示されたら [OK] をクリックします。

- b. [ファイルを選択してバックアップ] ボックスで、バックアップソースデバイスのチェックボックスをオンにします：



- c. フォルダ構成を開きます。バックアップソースデバイスのチェックボックスをオンにするとデバイスのすべてのファイルとフォルダのチェックボックスがオンになることを確認します。



- d. **[変更を適用する]** をクリックして、選択内容を使用してカスタムバックアッププランを作成します。

ご注意: **[元に戻す]** をクリックすると直近の選択が解除され、前に適用された設定が再表示されます。

- e. **[バックアップを有効にする]** をクリックし、指定したバックアップ頻度で選択したバックアップソースデバイスのすべてのファイルとフォルダのバックアップを開始し、p. 39のステップ 11に進みます。

ご注意: p. 33のステップ 5でスケジュールバックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、[スケジュールバックアップステータス] ダイアログが表示されます。このダイアログには、次回のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。



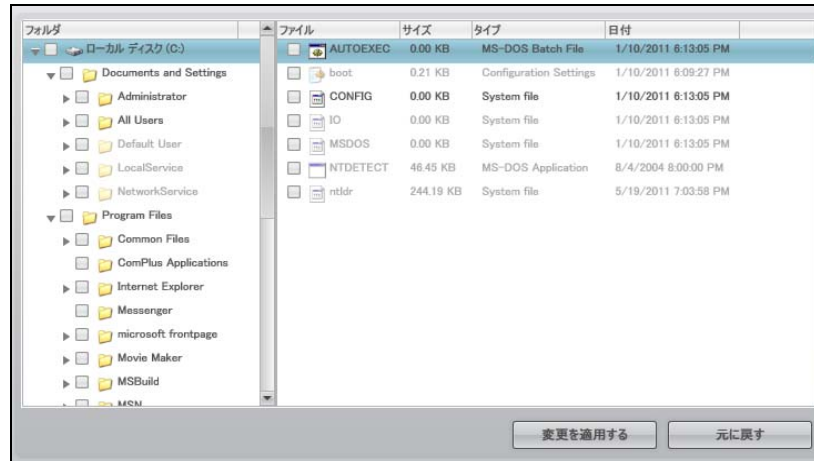
スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、**[今すぐバックアップ]** をクリックします。

10. 選択したバックアップソースデバイスから選択したファイルまたはフォルダをバックアップするには、以下の操作を行います。

- a. バックアップモードとして **[ファイルバックアップ]** が選択され、[バックアップ] 画面の左上端に **[ファイルのバックアップを実行できます]** が表示されていることを確認します。

バックアップモードがカテゴリで **[カテゴリのバックアップを実行できます]** が表示されている場合は、**[ファイルバックアップに切り替える]** ボタンをクリックして **[バックアップ計画を切り替える]** プロンプトが表示されたら **[OK]** をクリックします。

- b. [ファイルを選択してバックアップ] ボックスで、フォルダ構成を開きます。



- c. バックアップしたい個々のファイルまたはフォルダのチェックボックスをオンにします。

フォルダのチェックボックスをクリックすると、自動的にフォルダ内のすべてのサブフォルダおよびファイルを選択することになることに注意してください。

- d. [変更を適用する] をクリックして、選択内容を使用してカスタムバックアッププランを作成します。

ご注意: [元に戻す] をクリックすると直近の選択が解除され、前に適用された設定が再表示されます。

- e. [バックアップを有効にする] をクリックし、指定したバックアップ頻度で選択したバックアップソースデバイスの選択したファイルまたはフォルダのバックアップを開始し、p. 39のステップ 11に進みます。

ご注意: p. 33のステップ 5でスケジュールバックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、[スケジュールバックアップステータス] ダイアログが表示されます。このダイアログには、次回のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。



スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、[今すぐバックアップ] をクリックします。

## 11. バックアップ中の動作：

- 進行状況バーとメッセージはバックアップされたデータ量を表示します。
- カテゴリのバックアップの場合：
  - バックアップソースデバイスのコンテンツ ゲージ内のカテゴリのファイルに対する青色の背景は、まだバックアップされていないすべてのファイルに対しては、黄色に変わります。
  - バックアップターゲットデバイスのコンテンツ ゲージ内のカテゴリのファイルに対する灰色の背景は、バックアップが完了すると青色に変わります。
- WD SmartWare ソフトウェアはすべてのファイルをバックグラウンドでバックアップするため、ご使用のコンピュータで他の作業を継続することができます。
- **[バックアップを有効にする]** 切り替えボタンは **[バックアップを無効にする]** に変わりバックアップを無効にできます。

## 12. バックアップの正常終了メッセージが表示された場合は、バックアップが正常に完了したことを示します。

バックアップできないファイルがあった場合、WD SmartWare ソフトウェアは以下を表示します。

- 関連ファイルの数を示す警告メッセージ
- クリックして、バックアップされなかったファイルの一覧と理由を見ることができる表示リンク

一部のアプリケーションや実行中のプロセスではファイルがバックアップされないことがあります。一部のファイルがバックアップされなかった理由がわからない場合は、以下の操作を行います：

- 開いているファイルをすべて保存して閉じる
- 電子メール プログラムやウェブブラウザなどの実行中のアプリケーションをすべて閉じる

**重要：** バックアップを完了するのに十分な空き容量がない場合、バックアップターゲットデバイスがいっぱいであることを示す警告メッセージが表示されます。長期的に最適なソリューションは、デバイスを長期のアーカイブストレージとし、以下を実行することです：

- a. **[ヘルプ]** タブをクリックします。
- b. **[WDストア]** リンクをクリックして Western Digital のオンラインストアの Web サイトを表示します。
- c. **[外付けハードドライブ]** をクリックし、将来の要求に最適なドライブを選択します。

13. ステップ11で **「バックアップを無効にする」** を選択した場合、**「バックアップを無効にしますか？」** という確認プロンプトが表示され、WD SmartWare ソフトウェアによってバックグラウンドでバックアップジョブが実行されていることを確認できるため、バックアップ中に他の作業のためにコンピュータを継続して使用することができます。

継続するには、以下のいずれかをクリックします。

- **「いいえ」** – 要求を無視してバックアップを無効にしない
- **「はい」** – 要求を実行し、バックアップを無効にする

14. カテゴリごとのファイルのバックアップを行い、バックアップソースデバイスに複数の内蔵ハードドライブまたは複数のドライブパーティションがある場合は、個々のドライブでバックアップ手順を繰り返します。

## 5

## ファイルの復元

この章では以下のトピックについて説明します。

復元機能の仕組み  
ファイルの復元

### 復元機能の仕組み

WD SmartWare ソフトウェアを使用すると、バックアップファイルをバックアップターゲットデバイスから簡単に復元し、以下のいずれかにコピーすることができます。

- バックアップソースデバイス上の元の場所
- 特定の復元コンテンツフォルダ

復元は通常5つのステップで実行します。

1. [ホーム] 画面で、以下を選択します。
  - 復元先デバイス - 復元したファイルをコピーするバックアップソースデバイス
  - 復元元デバイス - 復元するファイルが存在するバックアップターゲットデバイス
2. ファイルの復元元デバイスからバックアップボリュームを選択します。
3. 復元したファイルのコピー先を指定します。バックアップソースデバイス上の元の場所か、または特定の復元コンテンツフォルダにコピーすることができます。
4. 復元する対象を選択します。指定ファイルの復元、指定フォルダの復元、またはすべての復元が行えます。
5. ファイルを復元します。

### ファイルの復元

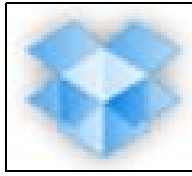
1. [ホーム] 画面の [バックアップソース] 領域で、復元したファイルをコピーする復元先 (バックアップソース) デバイスを選択します。
  - a. バックアップソースの選択ボックスを使用して、復元したファイルのコピーをローカルハードドライブに行うのか、リモート Dropbox フォルダに行うのかを指定します。



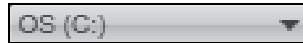
- デフォルトでは、コンピュータオプションが選択されます。このコンピュータアイコンは、復元先が内蔵ハードドライブ、ドライブパーティション、またはローカルに直接接続された外付けハードドライブのいずれかであることを示します。



- Dropbox オプションを選択した場合、Dropbox アイコンが表示されます。このアイコンは、復元先がリモート Dropbox フォルダであることを示します。



- 選択された復元先に複数の内蔵ハードドライブ、複数のドライブパーティションまたは外付けハードドライブが存在している場合は、バックアップソースデバイス選択ボックスを使用して、復元したファイルをコピーする1つのソースを指定します。



2. [ホーム] 画面の [バックアップターゲット] 領域で、以下の操作を行います。

- コンピュータに複数のバックアップターゲットデバイスを接続している場合は、ファイルの復元元となる1つのターゲットを選択します。



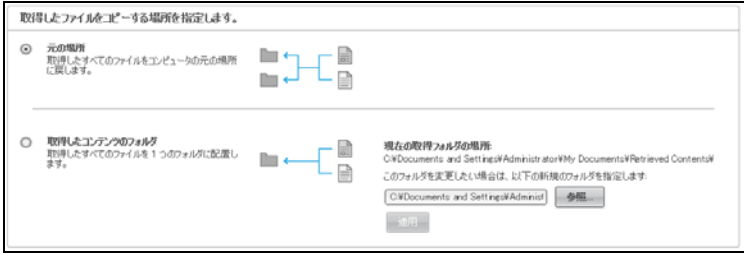
- 選択したデバイスが明るい青色の背景でハイライト表示されることを確認します。
- 選択したデバイスに複数のドライブパーティションまたはネットワーク共有が存在している場合、デバイスアイコンの下にあるバックアップターゲットデバイス選択ボックスを使用して1つのターゲットを指定します。


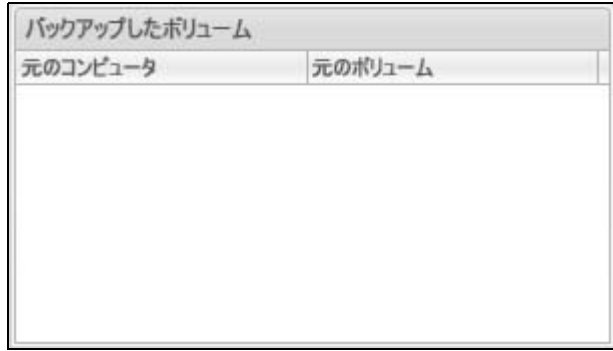


3. [復元] タブをクリックします。次のいずれかのダイアログが表示されます。

- [復元したファイルの保存先を選択] ダイアログ
- [バックアップしたボリュームを選択] ダイアログ

(p. 26の図10を参照してください)。

バックアップ時の 処理...	WD SmartWare の表示...
<p>以下の復元先（バックアップソース）デバイスから、選択した復元元（バックアップターゲット）デバイスに1つのバックアップボリュームを作成</p>	<p>[復元したファイルの保存先を選択] ダイアログ：</p>  <p>p. 43のステップ4に進みます。</p>

バックアップ時の 処理...	WD SmartWare の表示...
<p>以下のいずれかから、選択した復元元（バックアップターゲット）デバイスに複数のバックアップボリュームを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バックアップソースデバイス上の異なる内蔵ハードドライブまたはドライブパーティション</li> <li>異なるバックアップソースデバイス</li> </ul>	<p>[バックアップしたボリューム] 選択ボックスに利用可能なボリュームが表示されている [バックアップしたボリュームを選択] ダイアログ:</p>  <p>この場合、以下の操作を行います:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[バックアップしたボリューム] 選択ボックスで、復元元ファイルにしたいボリュームを選択します。</li> <li>[次へ] をクリックして [復元したファイルの保存先を選択] ダイアログを表示します。</li> <li>ステップ4に進みます。</li> </ol>
<p>選択した復元元（バックアップターゲット）デバイスでバックアップが実行されていない</p>	<p>[バックアップしたボリューム] 選択ボックスに何も表示されていない [バックアップしたボリュームを選択] ダイアログ:</p>  <p>バックアップボリュームを持たないデバイスからはファイルを復元することはできません。[ホーム] タブをクリックして p. 41 のステップ2に戻り、復元するファイルが保存されているデバイスを選択します。</p>


4. [復元したファイルの保存先を選択] ダイアログでは、次の操作を行います。

目的のコピー先...	操作...
<p>選択した復元先（バックアップソース）デバイス上の元の場所</p>	<p>[元の場所]</p> <p>ご注意: p. 42 のステップ3 で異なるバックアップソースデバイスまたはリモート Dropbox フォルダからバックアップボリュームを選択した場合、[元の場所] オプションは使用できません。</p>



目的のコピー先...	操作...
復元したコンテンツのフォルダ	<p><b>復元コンテンツフォルダ</b></p> <p>デフォルトのフォルダは [マイドキュメント] フォルダにある [復元したコンテンツ] です。</p> <p>別のフォルダを指定する場合は、次の操作を行います：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[参照] をクリックして、新しいフォルダを指定します</li> <li>[適用] をクリックします</li> </ol>

5. [次へ] をクリックして [復元したいコンテンツの選択] ダイアログを表示します。

復元する内容... (選択したバックアップ ボリュームから)	操作...
すべてのファイル	[すべてのファイルを復元] オプションで、p. 45 のステップ7に進みます。
選択したファイルまたは フォルダ	<p>[一部のファイルを復元] オプションで、[一部のファイルを復元] 選択ボックスを開き、ステップ6に進みます。</p> 

6. [一部のファイルを復元] 選択ボックスのフォルダ一覧で対象とするファイルを確認します。[検索] ボックスにファイルまたはフォルダの名前（または名前の1部）を入力して、検索することもできます。
- [古いファイルを表示] チェックボックスをオンにして、ファイルの別のバックアップバージョンを表示することができます。



名前	サイズ	日付
<input type="checkbox"/> diagnostics	0.00 KB	2011年7月31日
<input checked="" type="radio"/> 1 バージョン前	0.00 KB	2011年7月31日
<input type="radio"/> 2 バージョン前		2011年7月31日
<input type="radio"/> 3 バージョン前	0.01 KB	2011年7月30日
<input type="radio"/> 4 バージョン前	0.01 KB	2011年7月30日
<input type="radio"/> 5 バージョン前	0.01 KB	2011年7月30日

- **削除ファイルを表示** チェックボックスをオンにして、削除したファイルのバックアップファイルを表示することができます。



- **表示** アイコンを選択して、個々のファイルの一覧を表示することができます。
- ファイルを検索する場合は、検索ボックスにファイル名の全体または一部を入力し、**[Enter]** キーを押します。

検索により絞り込まれた状態を解除するには、検索ボックス内のテキストをすべて削除し、**[Enter]** キーを押します。

- 復元したいファイルまたはフォルダのチェックボックスをオンにします。

7. **復元の開始** をクリックします。

8. 復元中の表示、および可能な操作は次のとおりです。

- **[回復]** 画面に、指定回復場所にコピーされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます。
- **復元のキャンセル** ボタンを使って、復元を中止することができます。

9. 復元が完了すると、**復元完了** メッセージが表示されます。

復元対象に選択したファイルの一部が指定した復元場所にコピーされなかった場合、**部分的復元完了** メッセージが表示されます。メッセージの内容は、次のとおりです。

- **ファイルは回復されませんでした** メッセージは、回復されなかったファイルの数と回復失敗情報画面へのリンクを表示します。**ファイルの表示** リンクをクリックすると、復元されなかったファイルの一覧と理由が表示されます。
- **復元先がいっぱいです** メッセージは、復元を完了するのに十分な空き容量が選択した復元先（バックアップソース）デバイスにないことを示します。

## 6

## ドライブのロックとロックの解除

この章では以下のトピックについて説明します。

- パスワード認証によるドライブの保護
- ドライブのロックを解除する
- パスワードの変更
- ドライブのロック機能を無効にする

### パスワード認証によるドライブの保護

誰か他の人がドライブにアクセスするのではないかと心配な場合、また、他の人がドライブ上のファイルを表示できないようにしたい場合は、パスワード認証機能をご利用ください。

**注意！ WD セキュリティを使用すると、ユーザーのパスワードを使ってドライブをロックしたり、ロックを解除することができます。しかし、パスワードを忘れた場合は、ドライブ上のデータにアクセスしたり、新しいデータを書き込むことができなくなります。その場合、ドライブを再度使用するにはドライブの消去が必要になります。**

1. [セキュリティ設定] ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上のWDセキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > WD セキュリティ



2. コンピュータに複数の My Passport を接続している場合は、パスワード認証を設定するドライブを選択します。
3. [パスワードの選択] ボックスに最大 25 文字のパスワードを入力します。

4. **[パスワードの確認]** ボックスに再度パスワードを入力します。
5. **[パスワードのヒント]** ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
6. 必要に応じて、**[ユーザーの自動ロック解除を有効にする:]** チェックボックスをオンにします。WD セキュリティソフトウェアにコンピュータ上で選択したドライブのパスワードを記憶させたい場合は、チェックボックスをオンにします。
7. パスワードを忘れた場合にデータを失う可能性があるという警告を確認します。
8. **[了解しました。]** チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを表明します。
9. **[セキュリティ設定の保存]** をクリックすると、パスワードが保存されドライブのハードウェアの暗号化が有効になります。
10. **[OK]** をクリックして、セキュリティが有効になったことを示すメッセージを閉じます。

**注意！**パスワードを作成すると、ドライブは、現在の作業セッション中は「**ロック解除**」の状態を維持します。セッション終了後、WDセキュリティは、以下の処理を実行します：

- **ドライブをロックする：**ユーザーがコンピュータをシャットダウンした場合、ドライブの接続を解除した場合、またはコンピュータがスリープモードに入った場合に、ドライブをロックします
- **パスワードの入力を求める：**[ユーザーの自動ロック解除を有効にする] のチェックボックスをオンにしない限り、コンピュータを再起動、ドライブを再接続した際に、ドライブのロックを解除するためにパスワードの入力を求めます。パスワードの作成時にチェックボックスをオンにした場合は、自動ロック解除が有効となり、パスワードの入力は不要となります

## ドライブのロックを解除する

ドライブ上のファイルに他のユーザーがアクセスできないようにパスワードを設定すると、**[ユーザーの自動ロック解除を有効にする]** をオフにしている場合、以下の操作を行うときは必ずパスワードを入力しなければなりません。

- コンピュータをシャットダウンして再起動する
- ドライブを外してコンピュータに再接続する
- コンピュータがスリープモードを終了する

コンピュータにWDセキュリティをインストールしていない場合でも、パスワードを入力する必要があります。

コンピュータのソフトウェア設定に応じて、以下の3つの方法のいずれかの方法を選択し、ドライブをロックします。

- WDセキュリティまたはWDドライブユーティリティを使用する
- WD SmartWareソフトウェアを使用する
- WDドライブアンロックユーティリティを使用する

## WD セキュリティまたはWD ドライブユーティリティでドライブのロックを解除する

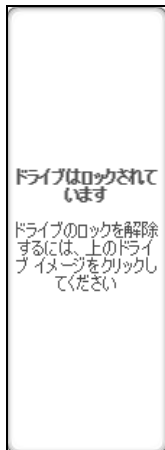
コンピュータをシャットダウンして再起動したり、ドライブを取り外してコンピュータに再接続した場合にWD セキュリティまたはWD ドライブユーティリティのいずれかを起動すると、[ドライブロック解除] ダイアログが表示されます。

この画面は以下のいずれかの場合に表示されます。

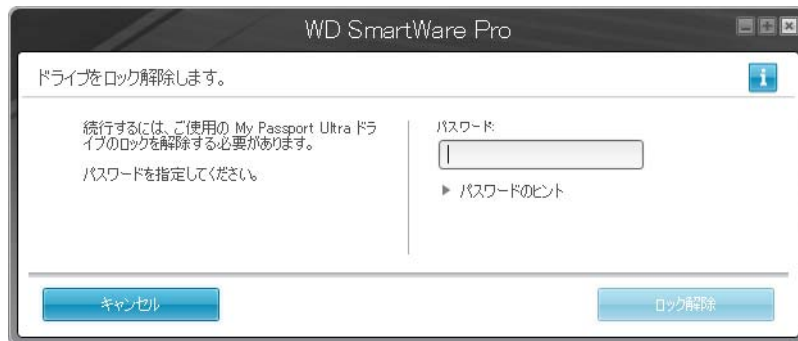
- 1 台の My Passport をロックし、コンピュータに接続されている場合（自動的に実行されます）
  - 複数の My Passport がコンピュータに接続されている場合で、WD セキュリティまたはWD ドライブユーティリティを使用した際に、いずれかの画面でロックしたドライブを選択した場合
1. [ドライブロック解除]画面が表示されない場合は、以下のいずれかの操作を行います。
    - デスクトップ上のWD セキュリティショートカットアイコン（アプリケーションのインストール時に作成している場合）をクリック、または [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Security] を選択
    - デスクトップ上のWD ドライブユーティリティアイコン（アプリケーションのインストール時に作成している場合）をクリック、または [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities] を選択
  2. コンピュータに複数の My Passport を接続している場合は、ロックを解除するドライブを選択します。
  3. [ドライブロック解除] 画面では、以下の操作を行います。
    - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
    - b. [ドライブのロック解除] をクリックします。

## WD SmartWare ソフトウェアを使用してドライブのロックを解除します

パスワード作成時に [ユーザーの自動ロック解除を有効にする] チェックボックスをオフにした場合は、コンピュータをシャットダウンまたは再起動するたび、またはドライブをコンピュータに再接続するたびに、パスワードの作成時にチェックボックスをオンにしていない場合は、WD SmartWare ソフトウェアは [ドライブはロックされています] と My Passport ドライブに関するコンテンツページの場所にメッセージを表示します。



1. [WD SmartWare ドライブのロックを解除してください] ダイアログが自動的に表示されない場合は、上部のドライブイメージアイコンをクリックして [ドライブはロックされています] メッセージを表示します。



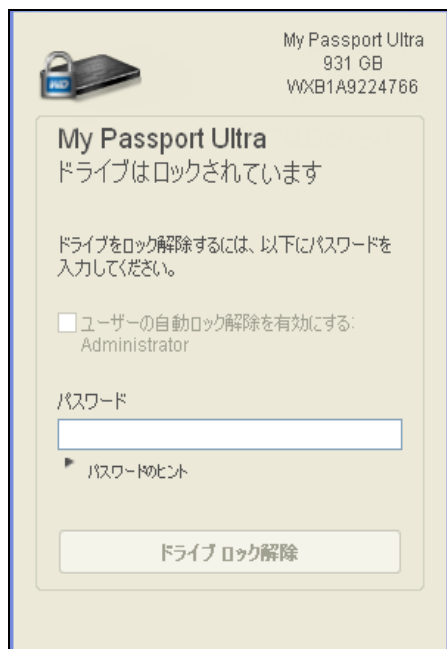
2. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
3. [ロック解除] をクリックします。

## WD ドライブのロック解除ユーティリティでドライブを解除

WD ドライブユーティリティ、WD セキュリティ、またはWD SmartWare ソフトウェアがインストールされていないパスワードで保護されたドライブに接続するときは、WD ドライブアンロックユーティリティを使用してそのドライブのロックを解除することができます。WD ドライブアンロックユーティリティは、コンピュータのファイル管理ユーティリティで表示されるバーチャルCD ドライブ上にあります。

1. WD ドライブアンロックユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：

- コンピュータのファイル管理ユーティリティを使って、WD ロック解除バーチャルCDを開き、WD Drive Unlock.exe ファイルをダブルクリックする
- [スタート] > [マイ コンピュータ] をクリックして、リムーバブルストレージがあるデバイスの下にあるWD ロック解除バーチャルCD アイコンをダブルクリックする



2. [WD ドライブロック解除] 画面で、以下の操作を行います。

- [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
- 必要に応じて、[ユーザーの自動ロック解除を有効にする:] チェックボックスをオンにします。WD Drive Unlock utility にコンピュータ上で選択したドライブのパスワードを記憶させたい場合は、チェックボックスをオンにします。
- [ドライブロック解除] をクリックします。
- [ドライブは現在ロックされています] メッセージが表示された場合、[終了] をクリックしてWD ドライブアンロックユーティリティ画面を閉じます。

## パスワードの変更

1. [セキュリティを変更] ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上のWD セキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > WD セキュリティ

ヘルプ

My Passport Ultra  
931.48 GB  
My Passport (G:)

**セキュリティの変更**

現在のセキュリティ設定を変更するには、以下にパスワードを入力してください。

パスワード  
[ ]

パスワードのヒント

---

セキュリティの削除

パスワードの変更

パスワードの選択  
[ ]

パスワードの確認  
[ ]

パスワードのヒント  
[ ]

ユーザーの自動ロック解除を有効にする: Administrator

セキュリティ設定の更新

2. コンピュータに複数の My Passport を接続している場合は、パスワードを変更するドライブを選択します。
3. [パスワード] ボックスに現在のパスワードを入力します。
4. [パスワードの変更] を選択します。
5. [パスワードの選択] ボックスに最大 25 文字のパスワードを入力します。
6. [パスワードの確認] ボックスに再度新しいパスワードを入力します。
7. [パスワードのヒント] ボックスに新しいパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
8. 必要に応じて、[ユーザーの自動ロック解除を有効にする:] チェックボックスをオンにします。WD セキュリティソフトウェアにコンピュータ上で選択したドライブのパスワードを記憶させたい場合は、チェックボックスをオンにします。
9. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。
10. [OK] をクリックして、セキュリティが有効になったことを示すメッセージを閉じます。



**注意！パスワードを変更すると、ドライブは、現在の作業セッション中は「ロック解除」の状態を維持します。セッション終了後、WDセキュリティは、以下の処理を実行します：**

- **ドライブをロックする：**ユーザーがコンピュータをシャットダウンした場合、ドライブの接続を解除した場合、またはコンピュータがスリープモードに入った場合に、ドライブをロックします
- **パスワードの入力を求める：**[ユーザーの自動ロック解除を有効にする] のチェックボックスがオフの場合、コンピュータの再起動、ドライブの再接続をした際に、ドライブのロックを解除するパスワードの入力を求めます。パスワードの作成時にチェックボックスをオンにした場合は、自動ロック解除が有効となり、パスワードの入力は不要となります

## ドライブのロック機能を無効にする

1. [セキュリティを変更] ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD セキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > **WD セキュリティ**



2. コンピュータに複数の My Passport を接続している場合は、パスワード認証を無効にするドライブを選択します。
3. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
4. [セキュリティの削除] オプションを選択します。
5. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。

# 7

## ドライブの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックについて説明します。

- WD Quick View アイコンを使用する
  - WD SmartWare を起動する
  - ドライブステータスをチェックする
  - ドライブを安全に取り外す
  - アイコンアラートを監視する
- ドライブのスリープタイマーを設定する
- ドライブの登録
- 本製品の健全性をチェックする
- ドライブの消去
- WDソフトウェアおよびディスクイメージの復元

### WD Quick View アイコンを使用する

WD SmartWare をインストールすると、WD Quick View アイコンが Windows タスクバーのシステムトレイに表示されます。



このアイコンを使って以下の操作を行うことができます。

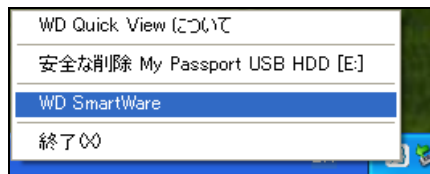
- WD SmartWare を起動する
- ドライブステータスをチェックする
- ドライブを安全に取り外す
- アイコンアラートを監視する

以降のセクションでは、アイコンの使用法、および上記の操作を行う他の方法について説明します。

### WD SmartWare を起動する

次によって WD SmartWare ソフトウェアを起動できます。

- タスクバーの WD Quick View アイコンを左または右クリックして、**WD SmartWare** を選択します。



- 以下をクリックします。  
[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > WD SmartWare > [WD SmartWare]

- デスクトップ上の WD SmartWare のショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）：



## ドライブステータスをチェックする

タスクバーの WD Quick View アイコン上にポインタを重ねると、ドライブ容量とドライブ温度のステータス、ドライブのロック状態を確認することができます。



## ドライブを安全に取り外す

**注意！データの損失を防ぐため、本製品のシャットダウンまたは接続の解除を行う前に、実行中のウィンドウとアプリケーションをすべて閉じてください。**

以下のいずれかの方法で、ドライブを安全に取り外すことができます。

- タスクバーの WD Quick View アイコンを右クリックして、My Passport ドライブの **安全な取り外し** オプションをクリック：



- WD SmartWare の [ホーム] 画面でドライブアイコンを右クリックし、表示されるメニューから **安全な取り外し** を選択します：



ドライブの電源が落ちる音が確認できます。

電源/動作状況 LED がオフになったことを確認し、ドライブをコンピュータから取り外します。

## アイコンアラートを監視する

タスクバーのWD Quick View アイコンの点滅は、次のようなドライブステータスを示します。

WD Quick View アイコンの点滅状態 ...	ドライブの想定される状態 ...
緑と白	デバイスはロックされているか、WD SmartWare が対応していない形式でフォーマットされています (Windows 環境における非 Windows フォーマット)。
赤と白	デバイスが過熱しています。  ドライブの電源を切って、60分間冷却してください。 電源を再びオンにした後、まだ問題がある場合は、WD サポートにご連絡ください。

## ドライブのスリープタイマーを設定する

ドライブのスリープタイマーにより、ハードディスク上で何も処理が行われずに一定の時間が経過した後、ドライブをオフにして電力を節約し、ドライブの磨耗を最小限に抑えます。

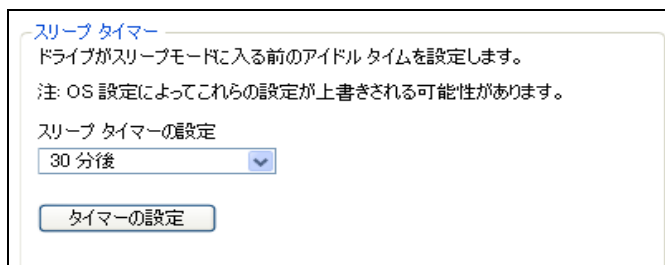
1. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD ドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック (インストール時に作成している場合)
- **[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]**

詳細については、p. 8 の図4を参照してください。

2. コンピュータに複数の My Passport を接続している場合は、スリープタイマーを設定するドライブを選択します。

3. **[スリープタイマー]** をクリックし、**[スリープタイマー]** ダイアログを表示します。



4. **[スリープタイマー]** ダイアログで、次の操作を行います。

- a. **[スリープタイマーの設定]** ボックスで、ドライブをオフにするまでの時間の長さを選択します。
- b. **[タイマーの設定]** をクリックします。

## ドライブの登録

WD ドライブユーティリティを使用すると、ご使用のコンピュータのインターネット接続を経由してドライブを登録することができます。本製品登録すると、保障期間は無料テクニカルサポートをご利用頂けます。また、最新のWD 製品情報をお届けします。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：
  - WD ドライブユーティリティのデスクトップショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
  - **[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]**

詳細については、p. 8の図4を参照してください。

3. コンピュータに複数のMy Passportを接続している場合は、ドライブの状態を確認するデバイスを選択します。
4. **[登録]** をクリックして、**[登録]** ダイアログを表示します。

**登録**  
ソフトウェアアップデートに関するお知らせや顧客サポートを受けるために、ドライブを登録できます。

名\*

姓\*

電子メール アドレス\*

\*必須フィールド

選択言語  
日本語 (日本) ▼

はい、登録製品のソフトウェアアップデート、高性能製品への移行、WD 製品の会員割引に関する WD からの配信メールを希望します。

[WD のプライバシーポリシー](#)

5. **[登録]** ダイアログで、以下の操作を行います。
  - a. **[名]** ボックスに名前を入力します。
  - b. **[姓]** ボックスに名字を入力します。
  - c. 電子メールアドレスを **[電子メールアドレス]** ボックスに入力します。
  - d. **[選択言語]** ボックスで言語を選択します。
  - e. **[はい、登録製品のソフトウェアアップデート ...]** チェックボックスをオンまたはオフにして、ソフトウェアアップデート、高性能製品情報、割引価格などの案内を受け取るか設定することができます。
  - f. **[ドライブの登録]** をクリックします。

## 本製品の健全性をチェックする

WD ドライブユーティリティは、本製品のパフォーマンスを確保するために、3つの診断ツールを備えています。ドライブが正しく動作しているか心配な場合は、次のテストのいずれかを実行してください。

- SMART ステータス

SMARTは、ドライブのパフォーマンス属性を継続的にモニタリングする障害予測機能です。たとえば、ドライブ温度の上昇、ノイズまたは読み取り/書き込みエラーなどの増加が検出されると、ドライブに深刻な障害が生じつつあること目安になります。事前にアラートを把握することにより、実際に障害が発生する前にデータを別のドライブに移動するなどの予防措置をとることが可能になります。

ドライブの状態に関するSMARTステータスチェックの結果は、合格または不合格として判定されます。

- クイックドライブテスト

ご使用のMy Passport ドライブはData Lifeguard™ 診断ユーティリティを実装しているため、エラー状態のドライブをテストすることができます。クイックドライブテストでは、ドライブのパフォーマンスに重要な問題がないかをチェックします。

ドライブの状態に関するクイックドライブテストの結果は、合格または不合格として判定されます。

- 完全ドライブテスト

最も総合的なドライブ診断は、完全ドライブテストです。完全ドライブテストでは、各セクターのエラー状態の有無を入念にテストし、必要に応じて不良セクターにマーカーを挿入します。

ドライブに問題が発生する前に、ドライブ診断とステータスチェックを定期的に行うことをお勧めします。SMARTステータスチェックと簡易ドライブテストは非常に高速なため、最小限の負荷で高レベルの保証を提供します。また、ファイルの書き込みやアクセス時にディスクエラーが発生した場合は、必ず3つのテストをすべて実行してください。

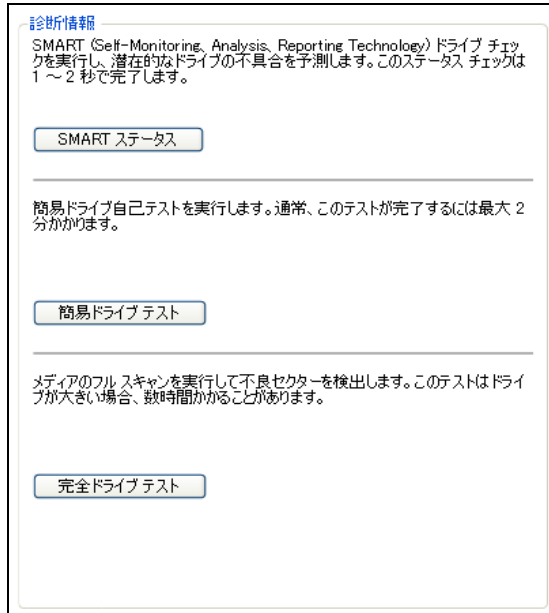
1. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上のWD ドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- **[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]**

詳細については、p. 8の図4を参照してください。

2. コンピュータに複数のMy Passportを接続している場合は、ドライブの状態を確認するデバイスを選択します。

3. [診断] をクリックして、[診断情報] ダイアログを表示します。



4. [診断情報] ダイアログで、実行したいテストのボタンをクリックします。

- SMART ステータス
- クイックドライブテスト
- 完全ドライブテスト

## ドライブの消去

**注意！** ドライブを完全に消去すると、ドライブにあるすべてのデータが削除されます。ドライブを消去する前に、ドライブ上に必要なデータがないことを必ず確認してください。

ご注意：ドライブを完全に消去すると、WD ソフトウェア、すべてのサポートファイル、ユーティリティ、ユーザーマニュアルもすべて削除されます。ドライブを消去した後、これらのファイルを My Passport にダウンロードして、元の構成に戻すこともできます。

WD ドライブユーティリティには、ドライブを消去するための 2 つの方法が用意されています。My Passport ドライブのロックが解除されているか、ロックされているかによって、使用方法が以下のように異なります。

ドライブの状態...	目的...	操作...
ロックが解除されている	ドライブを消去したい	次のセクションの「ドライブ消去機能を使用する」。
ロックされている	パスワードを忘れてしまったため、またはパスワードを消失したためドライブの消去が必須となった	「WD Drive Unlock Utility を使用する」 p. 59。

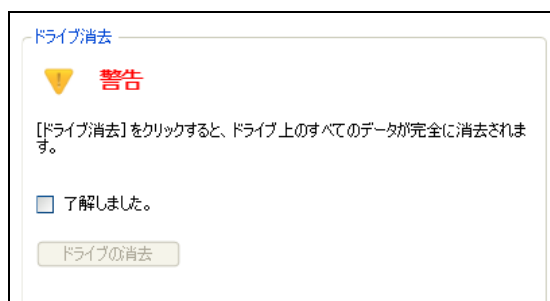
## ドライブ消去機能を使用する

ドライブがロックされていない場合に My Passport ドライブを消去するには、以下の手順を実行します。

1. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：
  - デSKTOP上のWD ドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
  - [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]

詳細については、p. 8の図4を参照してください。

2. コンピュータに複数の My Passport を接続している場合は、ドライブの状態を確認するデバイスを選択します。
3. [ドライブ消去] をクリックして、[ドライブ消去] ダイアログを表示します。



4. [ドライブ消去] ダイアログで、以下の操作を行います。
  - a. ドライブ消去によりデータが失われることについての警告を確認します。
  - b. [了解しました。] チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを表明します。
  - c. [ドライブの登録] をクリックします。

ドライブ消去の操作が完了したら、<http://support.wdc.com> にアクセスして、ナレッジベースの Answer ID 7 「My Passport ドライブにおけるソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

**ご注意：** ドライブを消去するとパスワードが削除されます。パスワードを使ってドライブを保護していた場合は、WD ソフトウェアとディスクイメージを復元した後、パスワードを再度作成します（「パスワード認証によるドライブの保護」p. 46を参照。）

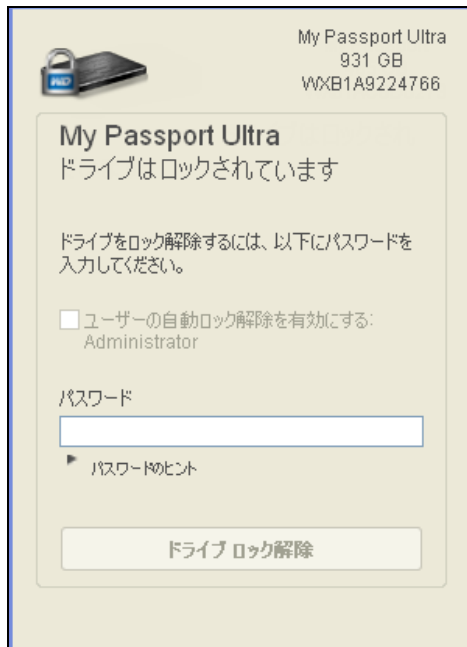
## WD Drive Unlock Utilityを使用する

ロックされた My Passport ドライブのパスワードを忘れてたり失くした場合にドライブを消去する場合は、次の操作を行います。

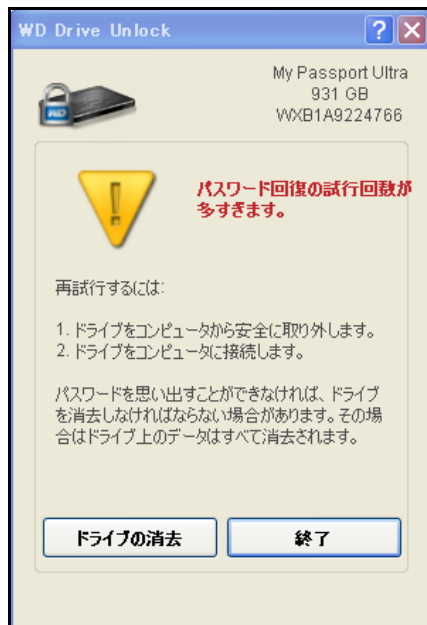
1. 次のいずれかの方法でWD ドライブのロック解除ユーティリティを起動します。
  - ご使用のコンピュータのファイル管理ユーティリティを使用してWD Unlocker バーチャルCDを開き、「Unlock.exe」をダブルクリックします。



- [スタート] > [マイ コンピュータ] をクリックして、リムーバブルストレージがあるデバイスの下にあるWD ロック解除 VCD アイコンをダブルクリックします。



2. ドライブのロックを解除するには、以下の操作を5回実行します。
  - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
  - b. [ドライブロック解除] をクリックします。
3. 無効なパスワードを5回入力すると、[パスワード試行回数が多すぎます] というダイアログが表示されます。



4. **「ドライブの消去」** をクリックすると、「ドライブにあるすべてのデータが削除されます」と警告が表示されます。



5. 警告を読み、**「了解しました」** チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを表明します。
6. **「消去」** をクリックします。

ドライブ消去の操作が完了したら、<http://support.wdc.com> にアクセスして、ナレッジベースの Answer ID 7 「My Passport ドライブにおけるソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

ご注意：ドライブを消去するとパスワードが削除されます。パスワードを使ってドライブを保護したい場合は、WD ソフトウェアとディスクイメージを復元した後、パスワードを再度作成します（「パスワード認証によるドライブの保護」 p. 46 を参照。）

## WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

ドライブを消去または再フォーマットすると、My Passport ドライブの全データが削除されるのに加え、WD ソフトウェアと、サポート ファイル、ユーティリティ、オンラインヘルプ、およびユーザー マニュアルのすべてのファイルが削除されます。

コンピュータ上の WD ソフトウェアの削除もしくは再インストール、または他のコンピュータに移動した本製品へのソフトウェアのインストールを行う必要がある場合、WD ソフトウェアとディスクイメージを本製品に復元することが必要となります。My Passport この処理を行うために必要な操作については、ドライブ消去または再フォーマットの完了後、<http://support.wdc.com> にアクセスして、ナレッジベースの Answer ID 7 を参照してください。

## ソフトウェアの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックについて説明します。

- バックアップ バージョンの数を指定
- 別の復元コンテンツフォルダを指定する
- ソフトウェアアップデートのチェック
- リモート Dropbox アカウントの設定
- WDソフトウェアのアンインストール

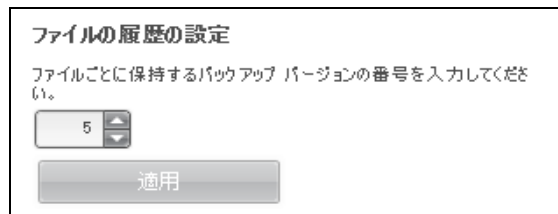
### バックアップ バージョンの数を指定

WD SmartWare を使用して、ファイルごとに最大で過去 25 回の更新履歴をバックアップすることができます。誤ってファイルを上書きしたり、削除してしまった場合でも、また以前のバージョンのファイルを見たい場合でも、WD SmartWare がコピーを保持しています。ファイルごとに最新の指定数分の復元可能なバージョンをいつでも利用でき、1 から 25 までのバージョンを常に保持し続けることができます。

より多くのバージョンを保持すると：

- ずっと前に遡ってファイルを回復できます
- より多くのディスクスペースを使用します

1. **[設定]** タブをクリックして、**[ソフトウェア設定]** 画面を表示します (p. 28 の図 11 を参照してください)。
2. **[ソフトウェア設定]** 画面で、**[ファイルの履歴]** をクリックし、**[ファイルの履歴の設定]** ダイアログを表示します。



3. **[ファイルの履歴の設定]** ダイアログで、次の操作を行います。
  - a. 選択ボックスに、各ファイルに対して保存したいバックアップバージョンの数 (1 ~ 25) を指定します。
  - b. **[適用]** をクリックします。

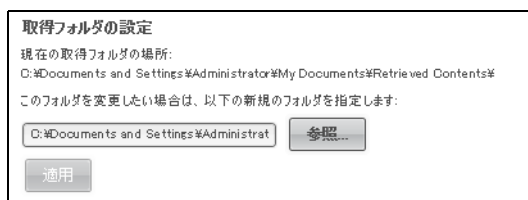
## 別の復元コンテンツフォルダを指定する

復元の開始時に、復元したファイルを次のどちらの場所に保存するかを選択できます。

- コンピュータ上の元の場所
- [回復されたコンテンツ] フォルダ

WD SmartWareのデフォルト設定では、[復元したコンテンツ] サブフォルダが、[マイドキュメント] フォルダに作成されます。別のフォルダを指定する場合は、次の操作を行います。

1. 新しいフォルダを作成するか、使用する既存のフォルダを決めます。
2. [設定] タブをクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します (p. 28の図11を参照してください)。
3. [ソフトウェア設定] 画面で、[復元フォルダ] をクリックし、[復元フォルダの設定] ダイアログを表示します。



4. [復元フォルダの設定] ダイアログで以下を実行します。
  - a. [参照] をクリックし、参照機能を使って新しい回復フォルダを確認します。
  - b. [適用] をクリックします。

## ソフトウェアアップデートのチェック

[ソフトウェアの更新] オプションを有効にした場合、WD SmartWare ソフトウェアの更新が自動的にチェックされます。これにより、常に最新のソフトウェアバージョンを使用することができます。[ソフトウェアの更新] オプションを有効、または無効にするには以下の手順を実行します。

1. [設定] タブの [ソフトウェアの設定] をクリックして [ソフトウェアの設定] 画面を表示します (p. 28の図11を参照)。
2. [ソフトウェア設定] 画面で [ソフトウェアの更新] をクリックして [ソフトウェアの更新] ダイアログを表示します。



3. [ソフトウェアの更新] ダイアログで、以下の操作を行います。
  - a. [WD SmartWare ソフトウェアアップデートを自動的に確認する] チェック ボックスをオンまたはオフにします。
  - b. ソフトウェアの更新を今すぐチェックする場合、[今すぐ確認] をクリックします。

## リモート Dropbox アカウントの設定

バックアップソースまたはターゲットデバイスとしてリモート Dropbox フォルダを使用する前に、WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定する必要があります。

1. [設定] タブの [ソフトウェアの設定] をクリックして [ソフトウェアの設定] 画面を表示します (p. 28 の図 11 を参照)。
2. [ソフトウェア設定] 画面で [Dropbox アカウント] をクリックして [Dropbox アカウント] ダイアログを表示します。



3. [アカウントの選択] をクリックして、[Dropbox ログインが必要] ダイアログを表示します。



4. [Dropbox ログインが必要] ダイアログで、以下の操作を行います。

- a. [サインイン] をクリックします。

WD SmartWare Pro ソフトウェアにより Dropbox 接続要求が始まります。Web ブラウザを使用して Dropbox の Web サイト (<https://www.dropbox.com/>) にアクセスします。

- b. Dropbox の Web サイトで、ログイン資格情報を記憶するようにアカウントを設定していなかった場合は、電子メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン] をクリックして WD SmartWare Pro ソフトウェアからの接続要求を確認します。

- c. [許可] をクリックして接続要求を受け入れます。

[成功!] が表示されれば、WD SmartWare Pro ソフトウェアからリモート Dropbox フォルダへのアクセスが許可されたことになります。

- d. **[完了]** をクリックして接続を終了し、**[Dropbox ログインが必要]** ダイアログを閉じて、現在の Dropbox アカウント画面を更新します。

ご注意: 後で別のリモート Dropbox フォルダに変更する場合も同じ手順を使用します。この場合、WD SmartWare Pro ソフトウェアにより、**[別の Dropbox アカウントへの切り替え]** ダイアログが表示されます。このダイアログでは、Dropbox アカウントを変更するとバックアップソースまたはターゲットデバイスとして現在のアカウントを使用して設定されたすべてのバックアップが無効になることが示されます。



## WD ソフトウェアのアンインストール

**重要:** WD SmartWare ソフトウェアのアンインストールにより、すべての既存のバックアップジョブ設定が削除されます。バックアップファイルは存在し続けますが、WD SmartWare ソフトウェアの再インストール後、バックアップのたびに手動で有効にする必要があります。(「ファイルのバックアップ」 p. 31 を参照してください)。

オペレーティング システムの **[アプリケーションの追加と削除]** を使ってコンピュータから WD ソフトウェアをアンインストールします。

## Windows XP でアンインストール

1. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** の順にクリックします。
2. **[アプリケーションの追加と削除]** をダブルクリックします。
3. アンインストールする WD ソフトウェアを選択します。
  - **WD SmartWare**
  - **WD セキュリティ**
  - **WD ドライブユーティリティ**
4. **[削除]** をクリックします。
5. **[よろしいですか...]** 確認画面で、**[はい]** をクリックします。

## Windows Vista、Windows 7、または Windows 8 で アンインストール

1. [スタート] > [コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [プログラムと機能] をダブルクリックします。
3. アンインストールする WD ソフトウェアのリストまたはアイコンをクリックします。
  - **WD SmartWare**
  - **WD セキュリティ**
  - **WD ドライブユーティリティ**
4. 画面上部の [アンインストールと変更] をクリックします。
5. [続行しますか ...] 確認画面で、[はい] をクリックします。

## Mac でドライブを使用する

My Passport は、アップデート済み Windows OS 用に、単一の NTFS パーティションとしてフォーマット済みです。Mac OS X オペレーティングシステムでこのドライブを使用する場合、また必要に応じて Time Machine を使用する場合は、まずドライブを単一の HFS+J パーティションに再フォーマットする必要があります。

この章では以下のトピックについて説明します。

ドライブの再フォーマット  
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

### ドライブの再フォーマット

---

**注意！**ドライブを再フォーマットすると、ドライブの内容はすべて消去されます。ドライブにすでにファイルが保存されている場合は、再フォーマットする前に必ずバックアップしてください。

---

<http://support.wdc.com> にアクセスして、Mac ドライブの再フォーマットの詳細について、ナレッジベースの回答 ID 3865 を参照してください。

ドライブの再フォーマットに関して、詳細は、「トラブルシューティング」p. 68 をご覧ください。

### WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

Windows PC で使用するために My Passport ドライブの再フォーマットを完了し、<http://support.wdc.com> をご覧になり、My Passport ドライブにおける Mac 用 WD Drive Utilities ソフトウェア、WD セキュリティソフトウェア、ディスクイメージのダウンロードと復元の詳細についてナレッジベースの Answer ID 7 を参照してください。

WD SmartWare ソフトウェアは、本モデルの My Passport ドライブを Mac でご使用の場合にはご利用いただけません。



## トラブルシューティング

この章では以下のトピックについて説明します。

### ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット よくある質問

この製品のインストール、または使用中に問題が起きた場合は、このトラブルシューティングセクションを参照してください。より詳細な情報が必要な場合は、サポートウェブサイト「<http://support.wdc.com>」にアクセスしてWDナレッジベースでさらに検索してください。

### ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット

方法	Answer ID
• Windows (8、7、Vista、XP) および Mac OS X で WD ドライブのパーティション作成やフォーマットする	3865
• Mac OS X GPT パーティションを Windows XP で NTFS パーティションに変換する	3645
• Mac OS X GPT パーティションを Windows 7 または Vista で NTFS パーティションに変換する	3647
• WD 製品用のソフトウェア、ユーティリティ、ファームウェアアップデート、ドライブをダウンロード（ダウンロードライブラリから）	1425
• FAT32* で WD 外付けハード ドライブをフォーマットする（Windows および MAC OS X）	291

\*FAT32 ファイル システムでは各ファイルの最大のサイズは4 GB であり、Windows では32 GB より大きいパーティションは作成できません。ドライブを再フォーマットしてFAT32 で32GB を超えるパーティションを作成する場合は、External USB/FireWire FAT32 Formatting Utility を<http://support.wdc.com/product/download> からダウンロードしてください。

Windows のユーザーは、Windows ディスク管理ユーティリティ、あるいはサードパーティソフトウェアを使ってドライブをNTFS に再フォーマットすることでファイルサイズの制限を克服できます。詳細については、以下を参照してください。

- <http://support.wdc.com> の回答ID 291
- [support.microsoft.com](http://support.microsoft.com) の記事ID # 314463 および# 184006
- 適正なサードパーティソフトウェア説明書あるいはサポート団体

### よくある質問

- Q:** ドライブがマイコンピュータやコンピュータのデスクトップに表示されないのはなぜですか？
- A:** システムにUSB 3.0、またはUSB 2.0 PCIアダプタカードが装着されている場合、WD 製USB 3.0外付けストレージ製品を接続する前にドライバがインストールされていることを確認してください。USB 3.0またはUSB 2.0ルートハブとホストコントローラのドライバがインストールされていないと、ドライブは正しく認識されません。インストール手順については、アダプタ カードの製造元にお問い合わせください。

**Q:** コンピュータを起動する前にUSB ドライブを接続したとき、PC が起動しないのはなぜですか？

**A:** システム設定によっては、コンピュータがWD製外付けUSBドライブから起動しようとする場合があります。システムのマザーボード BIOS 設定のマニュアルを参照して、この機能を無効に設定してください。あるいは、<http://support.wdc.com> にアクセスして、ナレッジ ベースの回答 ID 1201 を参照してください。外付けハードドライブの起動については、システムのマニュアルを参照するか、システムの製造元に問い合わせてください。

**Q:** データ転送レートが遅いのはなぜですか？

**A:** USB 3.0、またはUSB 2.0アダプタカードのドライバが正しくインストールされていないか、またはシステムがUSB 3.0、またはUSB 2.0に対応していないためにシステムがUSB 1.1の速度で動作している可能性があります。

**Q:** システムがUSB 3.0、またはUSB 2.0に対応しているかどうかは、どうやったらわかりますか？

**A:** USBカードの説明書を参照するか、USBカードの製造元にお問い合わせください。

ご注意：USB 3.0、またはUSB 2.0コントローラがシステムのマザーボードに内蔵されている場合は、そのマザーボード対応のチップセットを必ずインストールしてください。詳細に関しては、マザーボードまたはシステムのマニュアルを参照してください。

**Q:** USB 3.0、またはUSB 2.0 デバイスをUSB 1.1 ポートまたはハブに差し込むとどうなりますか？

**A:** USB 3.0およびUSB 2.0はUSB 1.1と下位互換性があります。USB 1.1ポートまたはハブに接続すると、USB 3.0、またはUSB 2.0 デバイスはUSB 1.1の最高速度12 Mbpsで動作します。

ご使用のシステムにPCI Express スロットが装備されている場合、PCI Express アダプタを装着してUSB転送レートを向上させることができます。取り付け手順および詳細は、カードの製造元にお問い合わせください。

# A

## SES ドライバのインストール

WDソフトウェアをインストールしない場合、My Passport ドライブをコンピュータに接続するたびにハードウェア ポップアップ ウィザードが表示されないようにするために、Windows コンピュータに SES (SCSI Enclosure Services) ドライバをインストールしておく必要があります。

ご注意: SES ドライバは、WD ソフトウェアをインストールする際に自動的にインストールされます。

この章では以下のトピックについて説明します。

[Windows XP コンピュータにインストールする](#)

[Windows Vista にインストールする](#)

[Windows 7 と Windows 8 コンピュータにインストール](#)

### Windows XP コンピュータにインストールする

p. 5 の図 3 に示すように、ドライブを接続すると、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。

ご注意: 自動再生が有効になっている場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面と同時に 2 つの追加の画面が表示される場合があります。表示されたら、閉じてください。

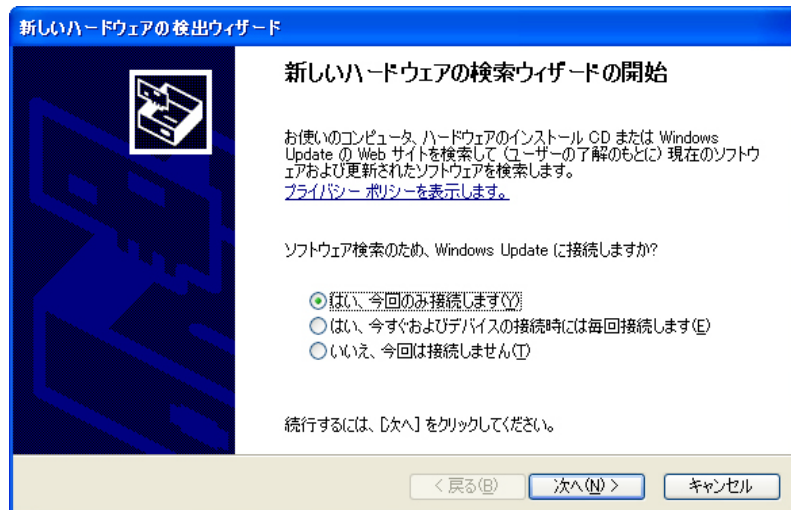
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面を使用して、以下のいずれかの方法で SES ドライバをインストールできます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されているかどうかに関係なく、手動でインストール

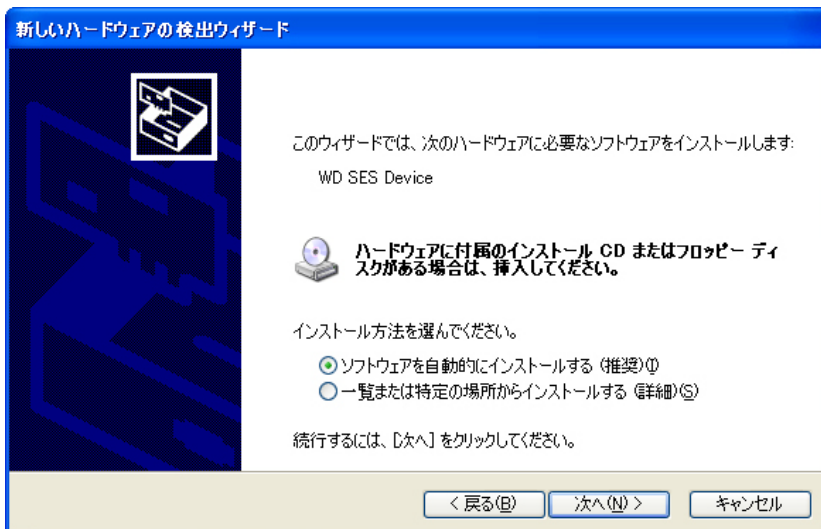
### ドライバを自動的にインストール

SES ドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、**[はい、今回のみ接続します]** を選択して、Windows XP が Windows Update に接続できるようにします。



3. [次へ] をクリックして作業を続けます。
4. [ソフトウェアを自動的にインストールする] を選択して、[次へ] をクリックします。



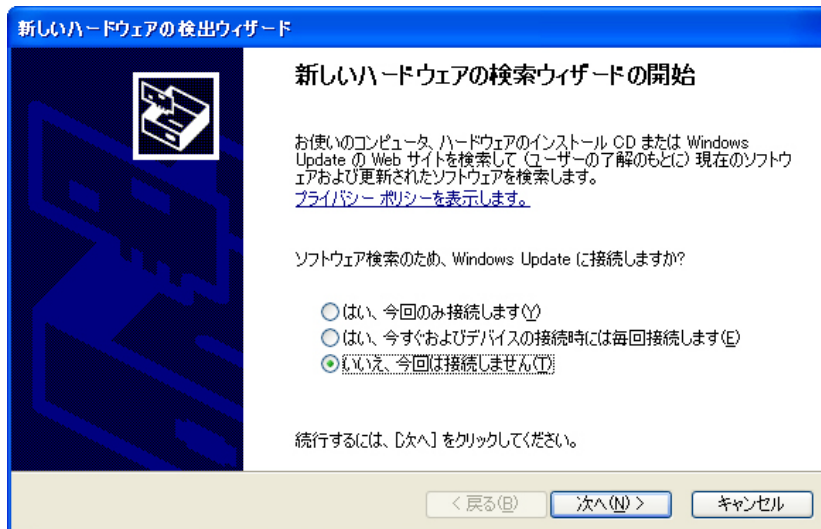
5. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。



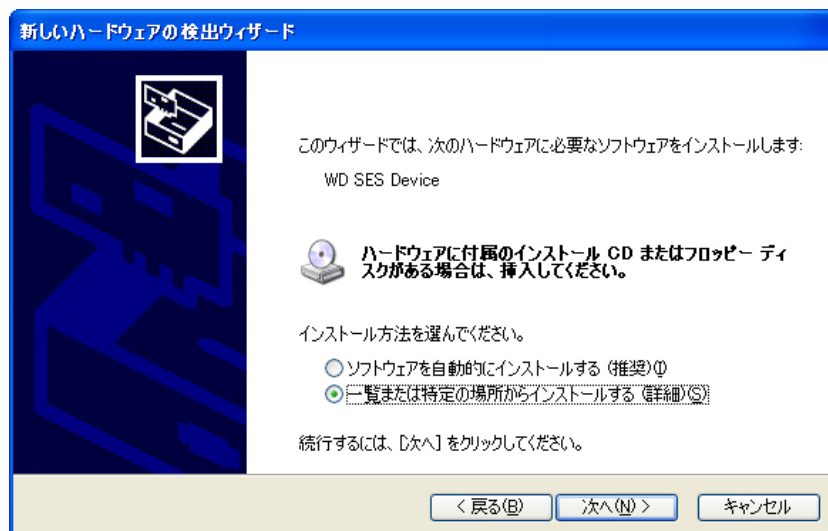
## ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

1. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、Windows Update への接続を行わないようにします。

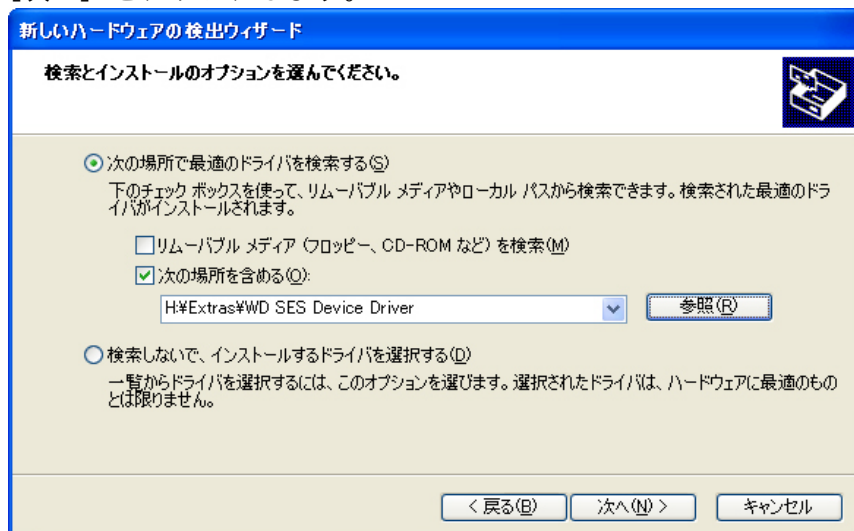


2. [次へ] をクリックします。
3. [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] をクリックします。



4. [マイコンピュータ] を参照し、以下の手順を実行します。
  - a. My Passport をダブルクリックします。
  - b. [Extras] フォルダをダブルクリックします。
  - c. **WD SES デバイスドライバ** を選択します。

d. [次へ] をクリックします。



5. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。



## Windows Vista にインストールする

p. 5 の図3 に示すように、ドライブを接続すると、[新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

ご注意: 自動再生が有効になっている場合、[新しいハードウェアの検出] 画面と同時に2つの追加の画面が表示される場合があります。表示された場合は、これらの画面は閉じてください。

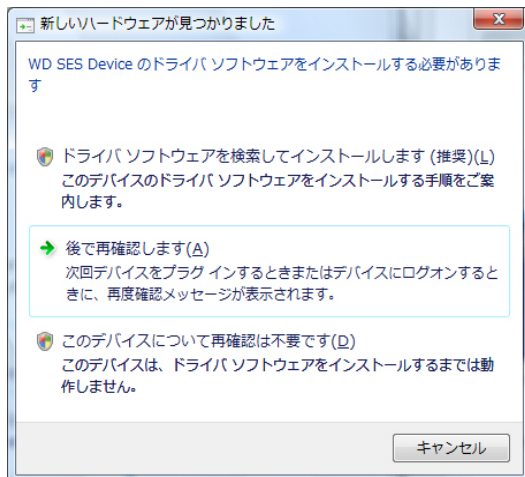
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面を使用して、以下のいずれかの方法でSESドライバをインストールできます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されていないかどうかに関係なく、手動でインストール

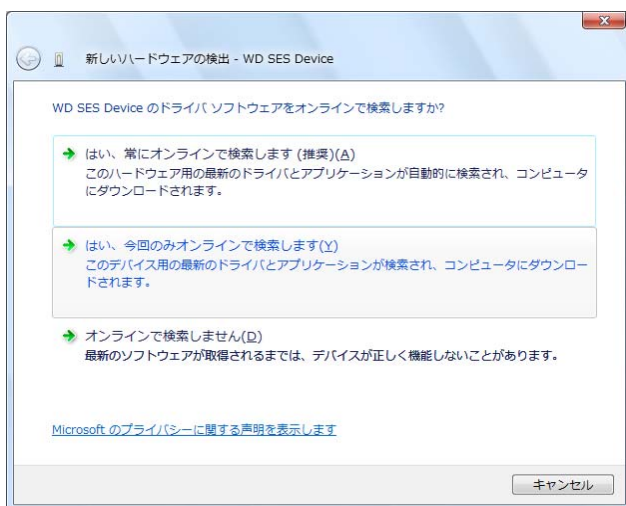
## ドライバを自動的にインストール

SES ドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします] をクリックします。



3. [新しいハードウェアの検出 - WD SES] 画面で、[はい、今回のみオンラインで検索します] をクリックし、Windows Vista が Windows Update に接続できるようにします。



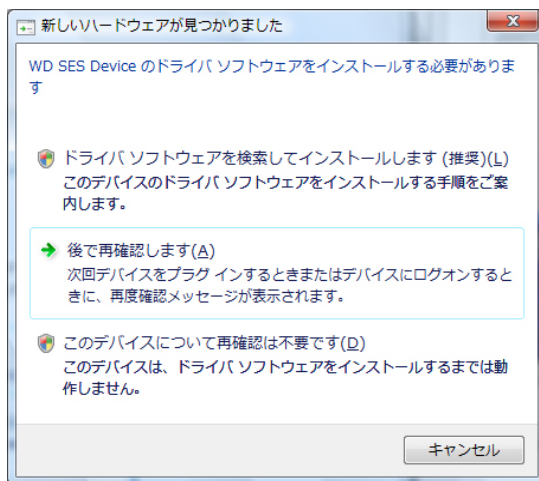
Windows Vista は自動的に以下を行います。

- Windows Update に接続
- SES ドライバを検出、ダウンロード、およびインストール

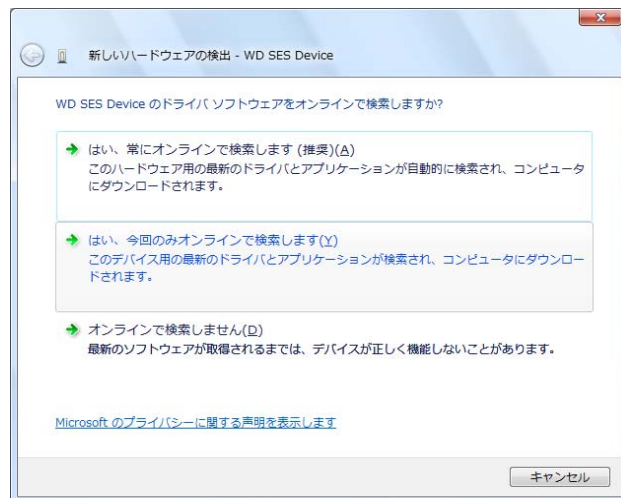
## ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

1. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします] をクリックします。



2. [新しいハードウェアの検出画面 - WD SES] 画面で、[いいえ、今回は接続しません] を選択します。

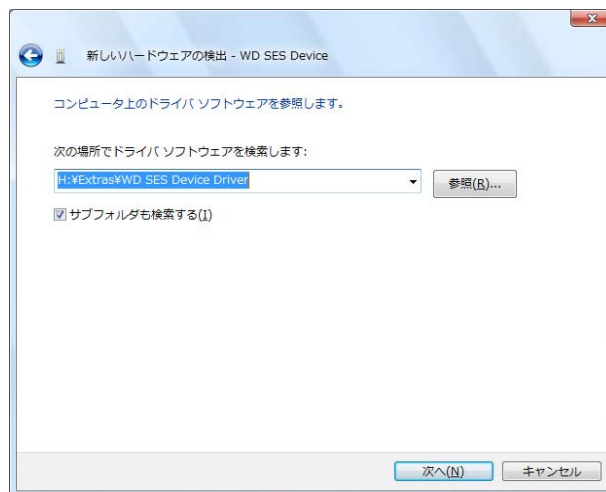




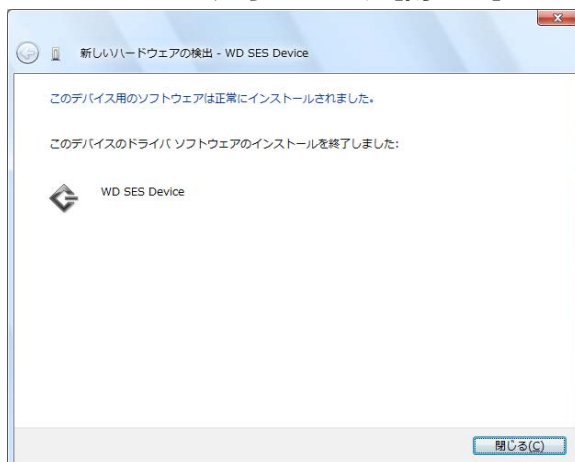
3. インストールの際、**WD SES** デバイスに付属のディスクを挿入するように促された場合、**[ディスクはありません]** をクリックします。**[他の方法を試します]** オプションをクリックします。



4. **[コンピュータ]** を参照し、以下の手順を実行します。
- My Passport をダブルクリックします。
  - [Extras] フォルダをダブルクリックします。
  - WD SES デバイスドライバ** を選択します。
  - [次へ]** をクリックします。



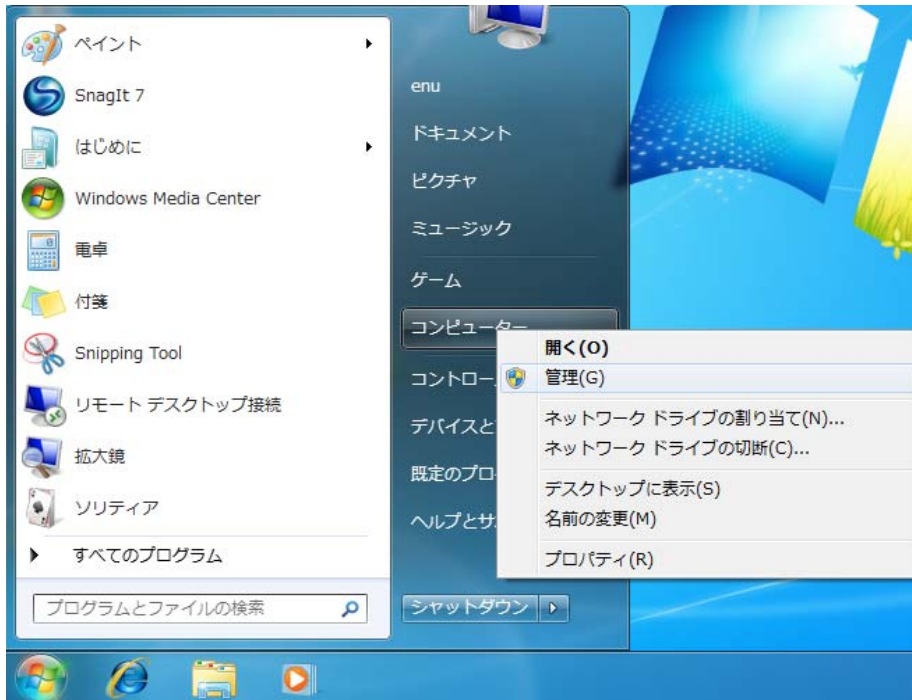
5. インストールが完了したら、**[閉じる]** をクリックします。



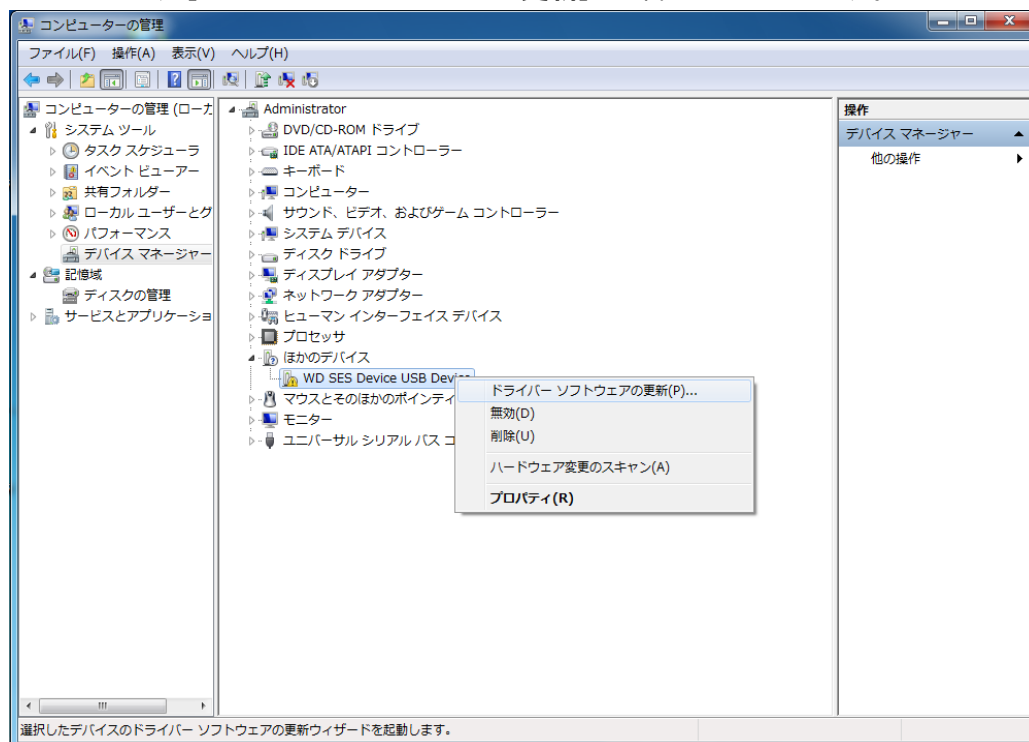
## Windows 7 と Windows 8 コンピュータにインストール

p. 5 の図 3 に示すようにドライブを接続した後、Windows Computer Management ユーティリティを使用して SES ドライバをインストールします。

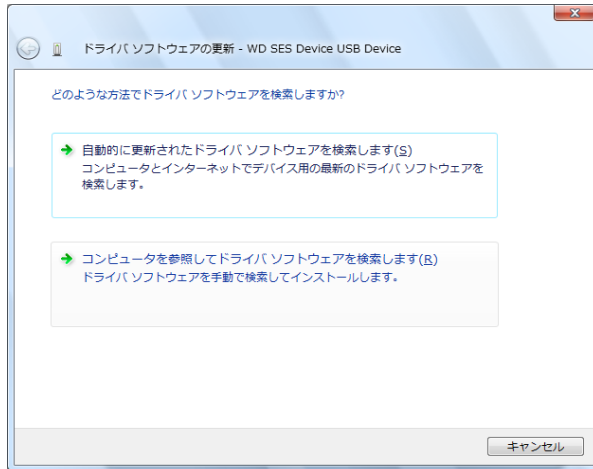
1. [すべてのプログラム] を開いて、[コンピューター] > [管理] をクリックします。



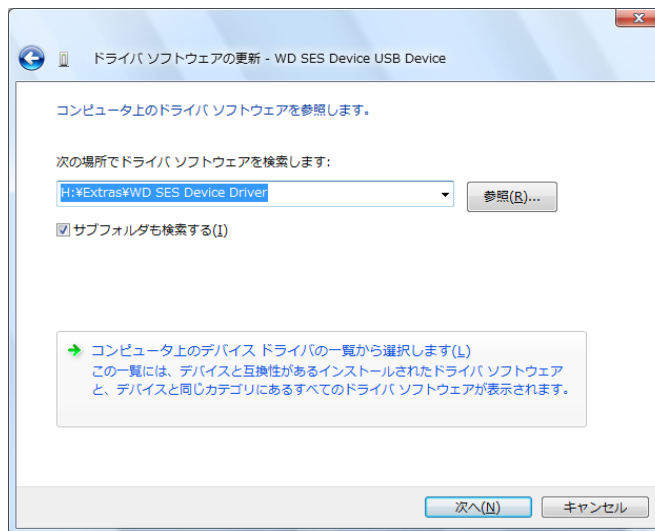
2. [コンピューターの管理 (ローカル)] で、[デバイスマネージャ] > [他のデバイス] をクリックし、[ドライバソフトウェアの更新] を右クリックします。



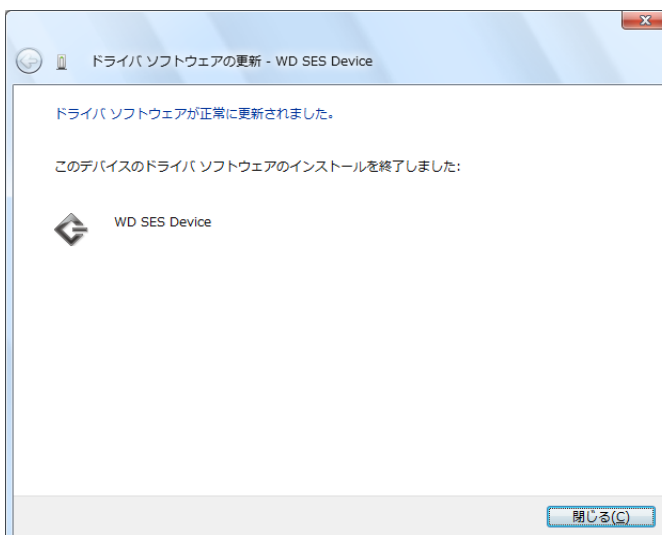
3. [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] をクリックします。



4. コンピュータを参照し、My Passportをダブルクリックし、[Extras] フォルダをダブルクリックし、そして**WD SES デバイスドライバ**を選択します。



5. [次へ] をクリックします。  
6. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。



## B

## 遵守および保証情報

この章では以下のトピックについて説明します。

- 規制遵守
- 環境基準の遵守（中国）
- 保証情報

### 規制遵守

#### FCC クラス B 情報

このデバイスの運用は次の条件を前提にしています。

- このデバイスが有害な干渉の原因となってはならない。
- このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす干渉も含め、任意の干渉を許容する必要がある。

このデバイスはFCC規定のパート 15に従い、クラス B デジタルデバイスの制限に対してテストされ、それに適合していることが確認されています。これらの制限事項は、住宅地域での設置の場合に有害な電波障害に対し妥当な予防策を与えるよう設計されています。このデバイスはラジオ周波数エネルギーを発生、使用し、それを放射する可能性があり、そして指示通りに取り付けられ、使われない場合、ラジオ、テレビまたは通信の受信に対して、有害な干渉の原因となることがあります。しかしながら、特定の設置条件でこれらの障害が発生しないという保証はありません。機器を断続的にオン/オフすることによって、ラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼした場合は、次の複数の手段によって干渉を修正することが推奨されます：

- 受信アンテナの方向を変えたり、配置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくする。
- 受信機が接続されているコンセントとは異なる回線のコンセントへ機器を接続する。
- ご質問がある場合は、小売店または熟練したラジオ / テレビ技術者にご相談ください。

WD により明示的に許容されていないすべての変更や修正は、デバイス进行操作する権限を無効にすることがあります。

#### ICES-003/NMB-003 宣言

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme ICES-003 du Canada.

このデバイスは Canadian ICES-003 クラス B に準拠しています。

#### 安全準拠

アメリカおよびカナダで承認済み。CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1, UL 60950-1: 情報技術機器の安全性。

Approuvé pour les Etats-Unis et le Canada. CAN/CSA-C22.2 No.60950-1, UL 60950-1 : Surete d'equipement de technologie de l'information.

## ヨーロッパCE 遵守

CEマークが表示されている場合、このシステムが、EMC指令(2004/108/EC)、および低電圧指令(2006/95/EC)など、適用EU理事会指令に準拠していることを示します。適用指令に基づく「準拠のEU宣言」は、Western Digital Europeによって作成され、保管されています。

## KC告知 (韓国のみ)

기종별	사용자 안내문
B 급기기 (가정용방송통신기자재)	이기는가정용 (B 급) 전자파적합기기로서주로 가정에서사용하는것을목적으로하며, 모든지역에서사용할수있습니다

## 環境基準の遵守 (中国)

部件名称	有毒有害物質或元素 产品中有毒有害物質或元素的名称及含量					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六价 鉻 (Cr (VI))	多溴化联 (二) 苯 (PBB)	多溴化 二苯醚 (PBDE)
減震架(4)	○	○	○	○	○	○
減震器(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
脚垫(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
带镜头的上盖	○	○	○	○	○	○
底盖	○	○	○	○	○	○
PCBA	○	○	○	○	○	○
硬盘驱动器	X	○	○	○	○	○
微型 USB 电缆	○	○	○	○	○	○
EMI 底盖	○	○	○	○	○	○
聚酯薄膜	○	○	○	○	○	○

O: 表示有毒有害物質在该部件的所有均质材料中的含量均低于 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。  
X: 表示该有毒有害物質至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。  
(在此表中, 企业可能需要根据实际情况对标记“X”的项目进行进一步的技术性解释。)

## 保証情報

### サービスを受けるには

WDは、お客様のビジネスを大切に、常に最高のサービスの提供に努めております。この製品に保守が必要な場合は、製品を最初に購入された代理店に連絡するか、または弊社のサポートウェブサイトである <http://support.wdc.com> をご覧になり、サービスを受ける方法または返品許可 (RMA) について詳細をお調べください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA 番号が出され、製品を返品する手順が通知されます。許可されていない返却 (つまり RMA 番号が発行されていないもの) は、お客様負担でそちらに返送されます。許可された返却は、承認された発送用コンテナに入れられ、前払いで保険を掛け、返却書類に示されている住所に宛ててください。元の箱および梱包素材は WD 製品を保存あるいは発送するために保管しておいてください。保証期間を確定するために、<http://support.wdc.com> で保証の有効期限をお調べください (シリアル番号が必要です)。WDは、いかなる理由においても、損失したデータ、損失したデータの回復、あるいは製品に含まれていたデータについて責任を負いません。

## 限定保証

WDは、通常の使用に供された場合、以下に規定する期間内、材質においても仕上がり状態においても本製品に欠陥が生じないこと、また本製品がWDの仕様に合致するものであることを保証します。WD製品をお買い求めになった国によって保証期間が異なります。限定保証の期間は、法律で義務付けられている場合を除き、北米と中南米では3年間、ヨーロッパ、中東、アフリカでは3年間、アジア太平洋地域では3年間となっています。お客様の製品保証期間は、正規販売店または正規再販業者の領収書に記載された購入日より開始します。製品がWDから盗取されたものであると断定された場合、または次の場合、WDは責任を負いません。当該故障が a) 存在しない場合、b) WDが製品を受け取る前に生じた損傷のために適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な取り付け、改変(ラベルの取り外しまたは消滅および外部エンクロージャの開封または取り外しを含む)。ただし、制限されたユーザーサービス可能製品リストに製品がある場合、および特定の改変が <http://support.wdc.com> にある該当手順の範囲内にある場合は除く)が行われたか、またはWD以外の者による事故または不注意な取り扱いの場合。前述の制限事項によって異なりますが、前述の保証期間内におけるWDの判断による製品の品の修理または交換が、お客様の唯一かつ排他的な保証となります。

前記の限定保証がWDの唯一の保証であり、新品として販売された製品にのみ適用されます。ここで提供される救済は、明示、黙示または法定かを問わず、a) 市販性、特定の目的との適合性に関する黙示の保証を含む(ただし必ずしもこれらに限らない)他のすべての救済と保証に取って代わるものであり、b) この製品の購入、使用、性能との関連から生じた、偶発的、派生的、または特別な損害、財務的な損失、利益の喪失、データの喪失(ただし必ずしもこれらに限らない)に対して一切責任を負いません。これは、WDが、あらかじめそのような損害が生じる可能性を知らされていた場合でも同様です。アメリカのいくつかの州では付随的または結果として生じる損害の制限を許容せず、そのために上記の制限がお客様に適用されない場合があります。この保証はお客様に特定の法的権利を与えますが、お客様には州ごとに異なるその他の権利があるかもしれません。

## GNU一般公衆利用許諾契約書 (GPL)

本製品に組み込まれたファームウェアには、Western Digitalのエンドユーザー使用許諾契約ではなく、GPLまたは劣等一般公衆利用許諾契約書(「LGPL」)(総称して「GPLソフトウェア」)で許諾されたサードパーティ著作権付きソフトウェアが含まれている場合があります。GPLに従い、該当する場合:1) GPLソフトウェアのソースコードは、<http://support.wdc.com/download/gpl> から無料でダウンロードできます。または、<http://support.wdc.com/download/gpl> から、あるいは購入された日から3年以内にカスタマーサポートに連絡することによってCDを通常価格で入手可能です。2) GPLソフトウェアは再使用、再頒布および、改変が可能です。3) GPLソフトウェアに関しては、適用される法律によって許容される範囲となり、保証はありません。また、4) GPLのコピーは、<http://www.gnu.org>、および <http://support.wdc.com/download/gpl> から入手できる場合もあります。

オープンソースソフトウェアを含むがこれに限定されないソフトウェアの変更または改ざんは、もっぱらお客様ご自身のリスクで実行されるものとします。Western Digitalは、そのようないかなる変更あるいは改ざんにも責任を負いません。Western Digitalは、Western Digitalによって提供されたソフトウェアを変更したりあるいは変更を試みたりした製品のサポートは行いません。

## 索引

### D

[Dropbox アカウント] ボタン 28, 64  
[Dropbox ログイン必須] ダイアログ 64

### F

FCC クラス B 情報 79

### G

GNU 一般公衆利用許諾契約書 81  
GPL ソフトウェア 81

### I

ICES/NMB-003 遵守 79

### L

LED インジケータ 4

### S

SMART ステータスチェック 57

### U

USB インターフェース 4

### W

#### WD

- サービス、受ける 80
- ストアリンク 30
- WD Quick View アイコン 53
- WD SmartWare をアンインストールしています
  - Windows から 65
- [WDSmartWare Pro へのアップグレード] 画面 9
- WD SmartWare ソフトウェア
  - オペレーティングシステムの互換性 3
  - 機能概要 15
  - [設定] 画面 16, 28
    - [設定] 画面を参照
  - [バックアップ] 画面 15, 23
    - [バックアップ] 画面を参照
  - [復元] 画面 15, 25
    - [復元] 画面を参照
  - [ヘルプ] 画面 16, 29
    - [ヘルプ] 画面を参照
  - [ホーム] 画面 15, 16
    - [ホーム] 画面を参照
- WD SmartWare ソフトウェアを起動 53
- WD SmartWare ソフトウェアを開く 53
- WD SmartWare の起動 53
- WD セキュリティソフトウェア
  - 画面 8
  - [セキュリティ設定] ダイアログ 8, 46
  - [セキュリティ変更] ダイアログ 51, 52

- WD ソフトウェアセットアップウィザード 6
- WD ソフトウェアのアンインストール 65
- WD ドライブユーティリティ
  - [診断情報] ダイアログ 58
  - [スリープタイマー] ダイアログ 55
  - [登録] ダイアログ 56
  - [ドライブの消去] ダイアログ 59
- 画面 8
  - [診断情報] ダイアログ 58
  - [スリープタイマー] ダイアログ 55
  - [登録] ダイアログ 56
  - [ドライブの消去] ダイアログ 59
- Windows
  - WD SmartWare のアンインストール 65
  - WD ソフトウェアのアンインストール 65

### あ

- アイコン
  - Dropbox 18
  - WD Quick View 53
  - アクティベーションコード必須 18
  - アラート、点滅 54
  - 書き込み可能パーティションなし 22
  - コンピュータ 17, 18
  - デバイスロック 22
  - バックアップターゲットデバイス 17
  - 無料トライアルアカウントダウン 22
  - ログイン資格情報必須 22
- アイコンの点滅アラート 54
- アクセサリ、オプション 3
- アクティベーションコード必須
- アイコン 18
- アラート、アイコンの点滅 54
- 安全準拠 79

### い

- [一部のファイルを復元] 選択ボックス 27
- インジケータライト 4

### お

- お問い合わせ先リンク 29
- オプションのアクセサリ 3
- オペレーティングシステムとの互換性 3
- オペレーティングシステム 3
- 温度のステータス、WD Quick View アイコン 54
- オンラインユーザーマニュアルリンク 29

## か

書き込み可能パーティションなし  
アイコン 22  
各部の名称と説明 4  
簡易ドライブテスト 57  
環境基準の遵守、中国 80

## き

規制遵守 79

## け

検索ボタン、[復元]画面 26  
限定保証 81

## こ

コンテンツゲージ  
バックアップソースデバイス  
[ホーム]画面 17  
バックアップターゲットデバイス  
[ホーム]画面 17  
バックアップソースデバイス  
[バックアップ]画面 23, 25  
[ホーム]画面 19  
バックアップターゲットデバイス  
[バックアップ]画面 23, 25  
[ホーム]画面 20

## さ

サービス 80  
サポートリンク 30

## し

システムの互換性 3  
システムファイルのカテゴリ、  
定義済み 19  
遵守、規制 79  
初回のバックアップ画面 14  
[診断情報]ダイアログ 58

## す

スケジュールバックアップ、  
[バックアップ頻度の選択]画面 12  
ステータスチェック 54

## せ

製品の特長 1  
セキュリティ  
[セキュリティ設定]ダイアログ 8, 46  
[セキュリティ変更]ダイアログ 51, 52  
設定  
[スリープタイマー]ダイアログ 55  
[バックアップ頻度]ボタン 23, 25, 33  
[ファイルの履歴]ダイアログ 62  
[復元フォルダ]ダイアログ 63  
[設定]画面

[Dropbox アカウント]ボタン 28  
機能概要 16  
説明 28  
[ソフトウェアの更新]ボタン 28  
[ファイルの履歴]ボタン 28  
[復元フォルダ]ボタン 28

## 選択

[バックアップ頻度]画面 12, 33  
バックアッププラン画面 12

## そ

ソフトウェア、GPL 81  
ソフトウェア設定  
復元フォルダ 63  
ファイルの履歴 62  
Dropbox アカウント 64  
ソフトウェアの更新 63  
ソフトウェアディスクイメージを  
復元する 61, 67  
ソフトウェアの更新  
オプション、設定 63  
ボタン 28

## ち

### 注意

ドライブの消去 58  
取り外す際のデータの  
損失について 54  
パスワードの紛失について 46  
ロック解除されたドライブに  
ついて 47, 51

中国 RoHS、環境基準の遵守 80

## て

ディスクイメージ、ダウンロードする、  
復元する 61, 67  
デバイス表示スクロールポイント 22  
デバイスロックアイコン 22

## と

### 同梱物 2

### ドライブ

接続を外す 54  
使用される容量、WD Quick View  
アイコン 54  
診断とステータスチェック 57  
ステータスチェック、WD Quick View  
アイコン 54  
スリープタイマー 55  
取り扱い上の注意 4  
フォーマット、変換する 3  
ドライブの再フォーマット 67, 68  
ドライブの消去 58  
[ドライブの消去]ダイアログ 59



ドライブの登録 56  
[ドライブの登録] ダイアログ 56  
ドライブの取り外し 54  
ドライブのロック解除  
WDセキュリティ 48, 50  
バーチャルCDから 49, 54  
ドライブのロックを解除する 47  
ドライブフォーマットの変換 68  
取り扱い上の注意 4

## は

ハードウェア 2  
パスワード認証によるドライブの保護 46  
パスワードの紛失についての注意 46  
パスワードの作成 46  
バックアップ  
画面 23  
初回 14  
スケジュールリマインダボタン 25  
手順 31  
ファイルコンテンツボック  
ス 34, 35, 38  
ファイルのバックアップについて 31  
[バックアップ]画面  
機能概要 15  
説明 16, 23  
バックアップ詳細表示領域 23, 24  
バックアップソース  
コンテンツゲージ 25  
バックアップターゲットコンテン  
ツゲージ 25  
バックアップの有効化/無効化トグル  
ボタン 23, 25  
[バックアップ頻度の設定]ボタ  
ン 23, 25  
[ファイルバックアップに切り替える/  
カテゴリバックアップに切り  
替える]トグルボタン 23, 25  
バックアップ詳細表示領域、  
[バックアップ]画面 23, 24  
バックアップソース  
Dropbox アイコン 18  
コンテンツゲージ  
[バックアップ]画面 23, 25  
[ホーム] 19  
[ホーム]画面 17  
コンピュータアイコン 17, 18  
選択ボックス 17, 20  
デバイス選択ボックス 17, 20  
バックアップターゲット  
コンテンツゲージ  
[バックアップ]画面 23, 25

[ホーム]画面 17, 20  
デバイスアイコン、[ホーム]画  
面 17, 20, 21  
デバイス選択ボックス 22  
[バックアップデバイスの選択]画面 10  
バックアップの有効化/無効化  
トグルボタン 23, 25  
バックアップボリューム選択ボックス 26  
パッケージ同梱物 2

## ふ

[ファイルの履歴]ボタン 28  
[ファイルバックアップに切り替える/カ  
テゴリバックアップに切り替える]トグル  
ボタン 23, 25  
復元  
取得先オプションボタン 27  
手順 41  
ファイルオプションボタン 27  
ファイルの復元について 41  
フォルダ、指定 63  
[復元]画面  
[一部のファイルを復元]選択  
ボックス 27  
機能概要 15  
検索ボタン 26  
説明 25  
バックアップボリューム選択  
ボックス 26  
復元先オプションボタン 27  
[復元の開始/キャンセル]  
トグルボタン 27  
復元ファイルオプションボタン 27  
復元フォルダボックスの変更 26  
[復元の開始/キャンセル]  
トグルボタン 27  
[復元フォルダ]ボタン 28  
復元フォルダボックスの変更、  
[復元]画面 26  
フルメディアスキャン 57

## へ

[ヘルプ]画面  
WDストアリンク 30  
お問い合わせ先リンク 29  
オンラインユーザーマニュアル  
リンク 29  
機能概要 16  
サポートリンク 30  
説明 29  
[ラーニングセンタートピック]  
ボタン 29

## ほ

[ホーム]画面

機能概要 15

説明 16

バックアップソースコンテンツ

ゲージ 19

バックアップソースコンピュータ

アイコン 18

バックアップターゲットコンテンツ

ゲージ 20

バックアップターゲットデバイス

アイコン 20, 21

保証情報 80

## む

無料トライアルカウントダウン

アイコン 22

## ら

[ラーニングセンタートピック]ボタン 29

## り

リモート Dropbox アカウント、設定 64

## ろ

ログイン必須アイコン 22

---

WDによって提供された情報は正確で信頼できるものと考えておりますが、その使用、あるいはその使用に起因した特許または第三者のその他の権利の侵害に関してWDは一切責任を負いません。WDの特許または特許権のもとでのライセンスの許諾は黙示的にもその他の方法でも行われません。WDは仕様を予告なく変更する権利を有します。

Western Digital、WD、WDのロゴ、My Book、およびMy Passportは、Western Digital Technologies, Inc. の登録商標であり、My Passport Ultra、WD SmartWare、WD Drive Utilities、WD Security、およびData LifeguardはWestern Digital Technologies, Inc. の商標です。Apple、Mac、OS X、およびTime MachineはApple, Inc. の商標であり、米国および他の国における登録商標です。本書に記載されている他のマークはその他の企業に属する場合があります。

© 2013 Western Digital Technologies, Inc. All rights reserved.

Western Digital  
3355 Michelson Drive, Suite 100  
Irvine, California 92612 U.S.A.

4779-705098-R00 2013 年 3 月